

英語学論説資料収録論文一覧 第48号(2014年分)

第1分冊 言語学英語学一般・意味論・語用論・語彙・辞書

言語学英語学一般 (GENERAL STUDIES)

Chomsky (1965) <i>Aspects of the Theory of Syntax</i> に関する評価	佐々木 一 隆	宇都宮大学外国文学研究会 外国文学	62 (13. 3)	1
ハイブリッド文法の構築へ向けて	勝 部 愛 美	大妻女子大学 Otsuma review	47 (14. 7)	7
文法範疇交替モデルの構築に向けて(3)	村 上 丘	大妻女子大学 Otsuma review	47 (14. 7)	16
機能主義言語学入門 ～言語使用の目的と手段～	高 野 秀 之	嘉悦大学研究論集	56-1 (13. 10)	21
E.サビア『言語』(1921)の言語史原理(後篇) —第7章、第8章「歴史的所産としての言語」解説—	三 輪 伸 春	鹿児島大学大学院 地域政策科学研究	11 (14. 3)	31
コトバの種特有性 —現代理論言語学の射程—	猪 熊 作 巳	実践英文学会 実践英文学	66 (14. 2)	39
比較媒介言語論序説	木村護郎クリストフ 他4名	上智大学 SOPHIA LINGUISTICA	60 (13. 3)	55
Tinbergenの4つの問題の生物言語学における位置づけとその方法論的含意	上 田 雅 信	上智大学 SOPHIA LINGUISTICA	61 (14. 3)	67
A Formal Approach to Knowledge	Peter SHARPE	拓殖大学人文科学研究 人文・自然・人間科学研究	30 (13. 10)	73
規範文法はなぜ減びないのか	鈴 木 雅 光	東洋大学大学院紀要 文学研究科 哲学・仏教学・中国哲学・英文学・史学・教育学・英語コミュニケーション専攻	49 (13. 3)	82
WALS (World Atlas of Language Structures)の言語類型論的パラメータの統計論的解析とその通時的解釈	ジョン・ホイットマン 小 野 洋 平	日本エドワード・サビア協会研究年報	28 (14. 3)	***
言語変化の傾向と動向	小 柳 智 一	日本エドワード・サビア協会研究年報	28 (14. 3)	91
Language Death and Diversity: Philosophical and Linguistic Implications	Lajos L. Brons	日本大学哲学研究室 精神科学	52 (14. 3)	97
認知文法の思考法 —FCG1, Ch.1を読む—	野 村 益 寛	北海道大学 文学研究科紀要	142 (14. 3)	106
[α α]	遊 佐 典 昭	宮城学院女子大学 英文学会誌	42 (14. 3)	121

意味論 (SEMANTICS)

「形容詞+of-NP」におけるNPの〈客観性〉について —aware, conscious, sureに関する一考察—	渡邊 丈文	青山学院大学英文学会 英文学思潮 86 (13.12)	131
From Implicature to Explicature: A Case of Explicitation?	Yumi KUZUOKA	青山学院大学大学院文学研究科 英米文学専攻院生 会 論集 37 (13.3)	141
The Grammatical Meanings of the Adjectival Participle in English	TAKERU ITOKAWA	岩崎研究会 LEXICON 44 (14.6)	147
穴構文を映画のデータから再考する —語彙意味論の知見と教育的活用—	倉田 誠	映画英語教育学会 映画英語教育研究 18 (13.3)	154
英語の「繰り上げ」構文に対する意味的分析	浅井 良策	大阪大学 英米研究 38 (14.3)	***
束縛的mustの語用論的・認知言語学的特徴づけと言語学習との接点	長友 俊一郎	関西外国語大学研究論集 99 (14.3)	161
シノニム記述の方法論	田中 実	関西学院大学 人文論究 64-2 (14.9)	171
Where Do Constructional Meanings Come From? (But They Will Come From Nowhere If Constructions Are Mere “Form/Meaning Pairs”)	Kow Kuroda	京都大学大学院 言語科学論集 3 (97.12)	178
意味構造記述のための有意義に制約された図法を求めて —概念化のID追跡モデルの提案—	黒田 航	京都大学大学院 言語科学論集 9 (03.12)	192
認知言語学に基づく拡張記号モデルの提唱 —ネットワーク・モデルを用いた文字論へのアプローチ—	黒田 一平	京都大学大学院 言語科学論集 19 (13.12)	211
接尾辞-ableの考察 —認知メカニズムの観点から	高橋 勝忠 海見 沙織	京都女子大学大学院 英語英米文学論輯 13 (14.3)	224
形式と意味の対応に関する覚書	吉田 幸治	近畿大学教養・外国語教育センター紀要 外国語編 2-2 (12.3)	229
「行為解説」の進行形に関する認知言語学的考察 —行為と意図のメトニミー関係から—	清水 啓子	熊本県立大学文学部紀要 19 (13.2)	240
to不定詞補部の意味構造 —構文スキーマとメタファーによる分析—	田島 珠未	群馬県立女子大学大学院 大学院諸究 11 (14.3)	252
英文中の意味の配置	篠崎 一郎	言語研究学会 言語の世界 32-2 (14.12)	259
Metaphorical Mappings of Body Part Terms: With Special Reference to their Spatial and Temporal Meanings in English, Japanese and Spanish	Hidehiko NEGI	言語研究学会 言語の世界 32-2 (14.12)	271
事象キャンセル可能性についての質問紙調査 —その詳細データ—	青木 奈律乃 中谷 健太郎	甲南大学紀要 文学編 163 (13.3)	279

動作主名詞とそれを修飾する形容詞との意味的關係	月 足 亜由美	甲南女子大学研究紀要 文学・文化編 50 (14. 3)	288
「連続スキヤニング」と「一括スキヤニング」	野 呂 健	國學院大學 Walpurgis 2014 (14. 3)	293
英語の不定詞と動名詞の総称性について	後 藤 善 久	札幌大学外国語学部 文化と言語 79 (13. 9)	303
Path Expressions as Adjuncts: Encoding Motion Events as Modifiers in Semantics	Tsuguro Nakamura	上智大学 SOPHIA LINGUISTICA 61 (14. 3)	312
ことばの理解を求めて —英文を読むということ	安 井 泉	聖徳大学大学院言語文化学会 言語文化研究 13 (14. 12)	323
A's BとB of Aのカテゴリー分析	緒 方 隆 文	筑紫女学園大学・筑紫女学園大学短期大学部紀要 9 (14. 1)	337
場所句倒置の統語上および情報構造上の特徴 —話題化と比較して—	村 上 瞳	鶴見大学 TSURUMI REVIEW 44 (14. 7)	344
Remarks on Sequence of Tense in English	Yoshiaki Kaneko	東北大学大学院 Explorations in English Linguistics 28 (14. 9)	**
心的状態を表す英語の色彩語メタファー —認知意味論に基づく意味拡張のプロセス—	新 妻 明 子	常葉大学短期大学部紀要 44 (13. 12)	350
英語の結果構文における結果述語の認可条件	山 根 一 文	中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要 45 (13. 3)	358
S + turn + out (+ to + be + that)節構文の主語要素の選択と出沒に関する意味論的研究	大 竹 芳 夫	新潟大学大学院現代社会文化研究科 言語の普遍性と個別性 4 (13. 3)	361
英語のbe-Vingと日本語のVテイルについて —「始まり志向」の継続相と「終わり志向」の継続相について—	高 島 彬	日本英文学会 英文学研究 支部統合号 6 北海道英語英文学 58 (14. 1)	374
Toの意味論 —英語教育への応用を目指して—	加 藤 鉦 三 花 崎 一 夫 花 崎 美 紀	日本英文学会 英文学研究 支部統合号 6 中部英文学 33 (14. 1)	380
進行形の「前段階」性について	佐 藤 健 児	日本大学英文学会 英文学論叢 62 (14. 3)	384
The Different Speed of Subjectification of Auxiliary Verbs	Kohei NISHIMOTO	日本大学大学院 英語英文学論叢 35 (14. 3)	395
英語の複合前置詞の意味変化：用法基盤理論に基づく意味変化へのアプローチ	山 口 和 之	日本体育大学紀要 43-2 (14. 3)	411
絶対形容詞uniqueの意味の諸相 —メトニミーとモダリティの観点から	友 澤 宏 隆	一橋大学語学研究室 言語文化 50 (13. 12)	414
日英多義語の認知意味論的分析 —「イエ」と“house”—	皆 島 博	福井大学教育地域科学部紀要 4 (14. 1)	421

acute, keen, sharpの対照意味分析	鳥居孝栄	福島工業高等専門学校研究紀要 54 (14. 1)	429
形容詞的名詞構文が示す変異の連続的段階性について	朝賀俊彦	福島大学 人間発達文化学類論集 20 (14. 12)	432
more/less salientとmore/less important —二つのsalience: hearer salienceとspeaker salienceとの関連で—	松本茂男 上山恭男	北海道教育大学紀要 人文科学・社会科学編 65-1 (14. 8)	438
全称命題と存在仮定に関する覚書	清水真一	桃山学院大学 人間科学 45 (14. 3)	444
物語テキストにおける意味の前景化	三宅英文	安田女子大学 英語英米文学論集 23 (14. 2)	452
総称文研究の新展開	岩部浩三	山口大学 英語と英米文学 49 (14. 12)	462
ファジー意味論Ⅰ・ファジー意味論Ⅱ	仲本康一郎	山梨大学教育人間科学部紀要 15 (14. 3)	471

語用論 (PRAGMATICS)

転移修飾 (Transferred Epithet) に関する言語学的考察 —文体論から語用論及び認知意味論へ—	大森裕實	愛知県立大学外国語学部 紀要 言語・文学編 46 (14. 3)	483
“Directives” in Bush's Address: From the Perspective of Speaker-Audience Interaction	Erina Iwai	青山学院大学大学院文学研究科 英米文学専攻院生 会 論集 37 (13. 3)	490
Speaking of which: 懸垂分詞構文由来の談話標識化について	早瀬尚子	大阪大学 英米研究 38 (14. 3)	506
Some considerations on DMs in historical texts: Towards a diachronic study	Shigenobu Fuami	大阪大谷大学 英語英米文学研究 41 (14. 3)	512
The Generic Structure of a Personal Story: An Overview of the Labovian Model of Narrative Analysis	Anne Tokunaga	大阪府立大学 言語と文化 12 (13. 3)	517
Discourse Markers as Presenters of Narrative Constituents	Alia Pugh	鹿児島純心女子短期大学研究紀要 44 (14. 1)	527
Understanding Japanese Expressions Denoting Modesty	Noriko Ciano	関西英語英米文学会 KWANSAI REVIEW 31 (14. 3)	530
疑問文発話解釈における話者態度の高次のメタ表示	後藤リサ	関西外国語大学 研究論集 100 (14. 9)	535
English Vocatives from the Viewpoint of Politeness Theory —A case Study of the English Film <i>Love Actually</i> —	Hiroyo Kitamura	関西学院大学大学院 言語コミュニケーション文化 11-1 (14. 3)	544
会話と会話をつなぐ表現「リンクワード」の効果的指導に関する研究	樋田光代 原田信之	岐阜大学教育学部研究報告 教育実践研究 15 (13. 3)	550

メタ表示とはどういうものか	中島 信夫	甲南大学紀要 文学編 163 (13. 3)	556
発話行為条件文(speech-act conditionals)とメタ表示	中島 信夫	甲南大学紀要 文学編 164 (14. 3)	561
Why Do Second-Language Learners Misunderstand Conversational Implicatures?	Mariko YOSHIDA	社会言語科学会 社会言語科学 16-2 (14. 3)	567
Development of the Speech Act “Compliment Response” during Study Abroad	Emi Fukasawa	上智大学 SOPHIA LINGUISTICA 61 (14. 3)	575
Plain Englishの詩学と政治学 ―英語コミュニケーションの規範をめぐる―	松木 啓子	同志社大学 コミュニカレ 2 (13. 3)	586
Is Tripadvisor® a Travel Site or an Advice Site, and Does it Make a Difference?	David Dykes	日本機能言語学会 PROCEEDINGS OF JASFL 8 (14. 10)	596
口語英語研究(6) 謝罪の表現に関して	木戸 充 Stuart J. SANDERSON	日本獣医生命科学大学研究報告 63 (14. 12)	601
N-N複合語にみる語用論的反復：関連性理論からの一考察	塩田 英子	日本比較文化学会 比較文化研究 111 (14. 4)	606
逆接を表す談話標識：対人関係調整機能と応答詞的機能	松尾 文子	梅光学院大学 論集 47 (14. 1)	612

語彙・辞書 (LEXICOLOGY・DICTIONARY)

Some Reflections on the Making of the <i>Progressive English Collocations Dictionary</i>	TSUKAMOTO Michihisa	愛知大学国際コミュニケーション学会 文明21 32 (14. 3)	619
An Analysis of Three Collocations Dictionaries for Learners of English	YASUTAKE ISHII 他3名	岩崎研究会 LEXICON 44 (14. 6)	626
Analysing-ly Adverbs in Movies for Teaching	Natsuki MATSUI	映画英語教育学会 映画英語教育研究 18 (13. 3)	641
英語を使用するビジネス環境における呼称の使用の分析	杉浦 綾子	映画英語教育学会 映画英語教育研究 18 (13. 3)	648
テレビドラマコーパス、辞書、母語話者判断による正誤検証 ―go outとhave a talk―	田畑 圭介	映画英語教育学会 映画英語教育研究 19 (14. 3)	655
Semantic Requirements for on the <i>Contrary</i>	Naohiko KUROKAWA	大阪工業大学紀要 人文社会篇 57-2 (13. 2)	662
大文字・小文字の多重性 ―現代の英語表記を例にして―	二ノ宮 靖史	國學院大學 國學院雑誌 115-11 (14. 11)	669
Johnson's and Webster's Treatments of the Phrasal Verb(3)	Kusujiro Miyoshi	創価女子短期大学紀要 45 (14. 2)	675

英語辞典の「日本語借用語」に見る日本語文化の指標語句	小林 孝 郎	拓殖大学日本語紀要 24 (14. 5)	683
A Distributed Morphology-Based Analysis of Lexical Suffixes	Tatsuhiko Okubo	筑波英語学会 TSUKUBA ENGLISH STUDIES 33 (14. 10)	692
1930年代英和辞典	土 肥 一 夫	東京都市大学共通教育部紀要 7 (14. 3)	705
Lexical Functional Categories	Toshihiko Asaka	東北大学大学院 Explorations in English Linguistics 28 (14. 9)	**
『和英語林集成』における増補見出し語の性格	木 村 一	東洋大学通信教育部 東洋通信 51-3 (14. 8)	714
英語の医学用語の語形成に及ぼすラテン語の影響について	平 井 美津子	長崎国際大学論叢 14 (14. 3)	719
英語語彙の意味範囲に関する不十分な理解とその修正	後 藤 由 佳	日本教育心理学会 教育心理学研究 62-1 (14. 3)	723
身体部位表現の概念研究	中 島 亨 輔	日本比較文化学会 比較文化研究 108 (13. 10)	729
英語学習辞典における名詞の語義と可算・不可算表記の関係について	小 寺 正 洋	阪南大学 阪南論集 人文・自然科学編 49-2 (14. 3)	737
A Concordance to Ernest Hemingway's <i>The Old Man and the Sea</i> : I-J	光 富 省 吾	福岡大学研究部論集 13-5 人文科学編 (14. 1)	747
植物の学名、英名、和名(27) (<i>Hydnophytum—Iriarteia</i>)	舘 山 碧	北海道医療大学人間基礎科学論集 40 (14. 11)	772
日本の唱歌・童謡の英訳比較考(1) —特に語彙を中心に—	大 塚 孝 一 山 岸 勝 榮 / 著 / 査読	明海大学大学院 応用言語学研究 16 (14. 3)	788
語彙習得におけるコロケーションの重要性	近 藤 崇 将 松 谷 緑	山口大学教育学部 研究論叢 63-1・2 (14. 1)	794
General English Words in English Legal Discourse	TORIKAI Shinichiro	立教大学異文化コミュニケーション学部紀要 ことば・文化・コミュニケーション 6 (14. 3)	800

** ……特集号・専門誌などに掲載されたために紹介にとどめた論文

*** ……著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

第2分冊 文法・語法

文法 (GRAMMAR)

The <i>WH</i> -island Effect as a Syntactic Phenomenon in Japanese	Hisashi MORITA	愛知県立大学 Mulberry 63 (14. 3)	1
A Parsing-based Analysis of Light Verb Constructions	Hiroto Hoshi	秋田大学教養基礎教育研究年報 15 (13. 3)	11
The Benefits of the CEG Typology Framework for Learners, Teachers, Researchers, and Textbook Writers	KOBAYASHI Toshihiko	映画英語教育学会 映画英語教育研究 19 (14. 3)	20
穴構文を映画のデータから再考する(2) —One's way構文との比較—	倉田 誠	映画英語教育学会 映画英語教育研究 19 (14. 3)	27
A Syntactic Approach to the Resultative Construction	YAMAGUCHI Masashi	大阪大学 Osaka Literary Review 52 (14. 1)	34
英語動詞句の概念スキーマ —状況認識の構造投射—	溝口 健司	大阪大谷大学 教育研究 39 (13. 12)	43
On the <i>wh</i> -island effects in a phase-based theory: A solution with a chain formation analysis	Yui TAGUCHI	神奈川大学大学院 言語と文化論集 20 (14. 2)	63
Grammaticalization and Idiomatization as Semantic Extension: With Special Reference to <i>Take</i>	Tomoaki Iguchi	関西学院大学大学院 言語コミュニケーション文化 11-1 (14. 3)	73
Exclusion of the Edge Condition and the Generalized Inactivity Condition from the Analysis of the Subject Condition	Keiichiro Kobayashi	関東学院大学工学部 科学/人間 43 (14. 3)	80
Reconsidering Coordinated <i>Wh</i> -questions	Hironobu Kasai	北九州市立大学基盤教育センター紀要 18 (14. 3)	94
Pattern Matching Analysis —Toward Cognitive Syntax—	Kow Kuroda	京都大学大学院 言語科学論集 2 (96. 12)	101
Outlining <i>Pattern Matching Analysis</i> : A Theoretical Framework Proposed for a Realistic Description of Natural Language Syntax	Kow Kuroda	京都大学大学院 言語科学論集 5 (99. 12)	117
Lyons (1977)による主観的/客観的認識様相の分析とその問題点	片岡 宏仁	京都女子大学 現代社会研究 16 (13. 12)	133
定形か非定形か、—英語の命令「文」について—	松瀬 憲司	熊本大学教育学部紀要 63 (14. 12)	137
主観的形容詞の二次述語的用法について	杉岡 洋子	慶應義塾大学言語文化研究所紀要 45 (14. 3)	141
文勢の歪み: 副詞句の英文頭位への前置に依る	篠崎 一郎	言語研究学会 言語の世界 32-1 (14. 6)	151

プロトタイプカテゴリーとしての英語中間構文再考	本 多 啓	神戸市外国語大学研究会 神戸外大論叢 64-1 (14. 3)	190
反優位性について	吉 田 智 行	国際基督教大学 教育研究 56 (14. 3)	205
<i>Wh</i> -Compounds: A Preliminary Study	Naomi Harada	首都大学東京・東京都立大学 人文学報 487 (14. 3)	209
Generalized Search and Cyclic Derivation by Phase: A Preliminary Study	Takaomi Kato 他4名	上智大学 SOPHIA LINGUISTICA 61 (14. 3)	216
関係詞節の構造	伊 藤 秀 彦	シルフェ英語英米文学会 シルフェ 53 (14. 2)	226
A Change in V3 Word Order in the <i>Peterborough Chronicle</i>	Shigeyuki KOBAYASHI	聖学院大学論叢 27-1 (14. 10)	235
真偽疑問文と極性の片寄り	猪 股 謙 二	大東文化大学 英米文学論叢 45 (14. 3)	247
文法性判断と確信	島 田 勝 正	中部地区英語教育学会紀要 43 (14. 1)	252
Reconsidering the Development of English Modals : With Special Reference to VP-ellipsis	山 村 崇 斗	筑波大学 論叢 現代語・現代文化 13 (14. 10)	255
The “Marginal Acceptability” of Noun Phrase Modification by an Adverb Clause	Masaru Kanetani	筑波大学大学院 文芸言語研究 言語篇 66 (14. 10)	265
動詞appearとseemの助動詞化	竹 田 道 代	鶴見大学 鶴見英語英米文学研究 15 (14. 3)	272
同格構文と比較構文	岩 田 良 治	天理大学学報 66-1 (14. 10)	280
変化事象と創造事象における構文拡張の方向性に関する一考察 —結果構文と穴あけ構文の分析を通して—	貝 森 有 祐	東京大学大学院総合文化研究科 言語情報科学 12 (14. 3)	286
Exploring a Consequence of Feature Inheritance and Labeling Algorithm	Shin-Ichi KITADA	東京理科大学紀要 教養篇 46 (14. 3)	295
On Syntactic Distinctness and Phase Head in English Relative Clause	Masashi Totsuka	東北大学 文化 77-3・4 (14. 3)	304
A Unified Analysis of Left-Dislocation and Gapping in English	Etsuro Shima	東北大学大学院 Explorations in English Linguistics 28 (14. 9)	**
A Note on Syntactic Derivation from a Viewpoint of Language Use	KAWAHIRA Yoshio	東北大学大学院 国際文化研究科論集 21 (13. 12)	311
動詞句省略文における発音されない代用形	島 越 郎	東北大学大学院文学研究科研究年報 63 (14. 3)	317

不定詞の研究	三ツ石 直 人	東洋大学大学院紀要 50 文学研究科 哲学・イン ト哲学仏教学・英文学・英語コミュニケーション専 攻 (14.3)	332
過去分詞による前置修飾の研究	出 縄 貴 良	東洋大学大学院紀要 50 文学研究科 哲学・イン ト哲学仏教学・英文学・英語コミュニケーション専 攻 (14.3)	340
There構文分析における動的文法理論と用法基盤モデルのインターフェイス	新 妻 明 子	常葉大学短期大学部紀要 45 (12.12)	348
Usage of Nouns and Noun Phrases	高 橋 直 子	名古屋外国語大学外国語学部 紀要 46 (14.2)	354
統語的派生再論	江 畑 冬 生	新潟大学 人文科学研究 135 (14.10)	362
STUDYING LANGUAGE AS A COMPLEX ADAPTIVE SYSTEM	WILLIAM CROFT	日本英語学会 ENGLISH LINGUISTICS 31-1 (14.6)	**
TWO TYPES OF MAIN VERB INVERSION	AKIHIKO ARANO	日本英語学会 ENGLISH LINGUISTICS 31-1 (14.6)	**
THE SYNTAX OF JAPANESE RECIPROCAL V-V COMPOUNDS: A VIEW FROM SPLIT ANTECEDENTS	TOMOYA KOSUGE	日本英語学会 ENGLISH LINGUISTICS 31-1 (14.6)	**
ON THE DEVELOPMENT OF <i>THE POINT IS</i> AND RELATED ISSUES IN THE HISTORY OF AMERICAN ENGLISH	REIJIROU SHIBASAKI	日本英語学会 ENGLISH LINGUISTICS 31-1 (14.6)	**
AGAINST FEATURE “COPYING”: A REPLY TO OHTAKA(2013)	CHIHIRO FUJIMORI	日本英語学会 ENGLISH LINGUISTICS 31-1 (14.6)	**
EMBEDDED TOPICALIZATION IN IRISH	HIDEKI MAKI DÓNALL P.Ó BAOILL	日本英語学会 ENGLISH LINGUISTICS 31-1 (14.6)	**
WHERE THE NOMINATIVE/GENITIVE ALTERNATION GENUINELY TAKES PLACE IN MODERN JAPANESE	MEGUMI HASEBE HIDEKI MAKI TOSHIRO UMEZAWA	日本英語学会 ENGLISH LINGUISTICS 31-1 (14.6)	**
THE <i>IT IS THAT</i> -CONSTRUCTION AND ABDUCTIVE INFERENCE	KEITA IKARASHI	日本英語学会 ENGLISH LINGUISTICS 31-1 (14.6)	**
RADICAL ARGUMENT DROP VIEWED THROUGH <i>PARAMETRIC VARIATION</i>	TOMOHIRO FUJII	日本英語学会 ENGLISH LINGUISTICS 31-1 (14.6)	**
ON SYMMETRIC ASPECTS OF GRAMMAR	TORU ISHII	日本英語学会 ENGLISH LINGUISTICS 31-1 (14.6)	**

ASPECT AND FORCE DYNAMICS: WHICH IS MORE ESSENTIAL TO RESULTATIVES?	SEIZI IWATA	日本英語学会 ENGLISH LINGUISTICS 31-1 (14. 6)	**
英語の不定詞演算子節について	西 前 明	日本英語英文学会 日本英語英文学 24 (14. 12)	372
結果構文のアスペクト	江 口 巧	日本英文学会 英文学研究 支部統合号 5 九州英文学研究 29 (13. 1)	386
Feature-Inheritance under Full Interpretation: Its Effects on Agree	GOTO Nobu	日本英文学会 英文学研究 支部統合号 6 東北英文学研究 4 (14. 1)	391
語の多義性から見た文法構造	瀬 戸 賢 一	日本英文学会 英文学研究 支部統合号 6 関西英文学研究 7 (14. 1)	397
Internal Conjunction as Argumentative Operations	Akira Ishikawa	日本機能言語学会 PROCEEDINGS OF JASFL 8 (14. 10)	401
On the Linking Problem with the Dative Alternation —A View from Fine-grained Syntax—	Takeshi TANAKA	日本大学英文学会 英文学論叢 62 (14. 3)	408
英語 5 文型の再分析 —“Comprehension Based Grammar”序章	川 嶋 正 士	日本比較文化学会 比較文化研究 110 (14. 2)	423
英国における「5 文型」の誕生と消滅	川 嶋 正 士	日本比較文化学会 比較文化研究 112 (14. 7)	429
動詞orderの補文再考	初 谷 智 子	姫路獨協大学 ことばの研究 2 (13. 3)	439
EPP素性と主要部移動の関連	宗 正 佳 啓	福岡工業大学研究論集 46-2 (14. 2)	446
A Usage-Based Analysis of Indirect Directives in English(1): A Preliminary Quantitative Survey	Hidemitsu TAKAHASHI	北海道大学文学研究科紀要 143 (14. 7)	453
極小主義における統語的定形性	菅 野 悟 央 野 村 忠 央	北海道教育大学紀要 人文科学・社会科学編 63-1 (12. 8)	472
Wh語を伴った統語的融合体の統語構造について	松 山 哲 也	和歌山大学教育学部紀要 人文科学 64 (14. 2)	480
語 法 (USAGE)			
The Motivation for Using Detached Participial Clauses in English	HITOSHI KAWABATA	岩崎研究会 LEXICON 44 (14. 6)	485
コミュニケーション能力の向上のために —映画に学ぶ「断り」のストラテジー—	越 智 希美子 鈴 木 光 代	映画英語教育学会 映画英語教育研究 18 (13. 3)	494

A Multi-Sense Network Approach to English Prepositions	Tomoko TSUJIMOTO	大阪工業大学紀要 人文社会篇 58-2 (14.2)	501
前置詞forの原因・理由用法についての子備的考察	宮崎 順子	お茶の水女子大学大学院英文学会 英語圏研究 9 (14.2)	504
英語語法における曖昧性の回避について	奥田 隆一	関西大学外国語学部紀要 9 (13.10)	511
英語動詞RUNの研究(その10) —意味変化と概念化—	上野 義和	京都外国語大学 SELL 30 (14.3)	***
冠詞の二義性と改訂大東お理論	石井 隆之	近畿大学総合社会学部紀要 3-1 (13.9)	517
He waved a taxi to stopについて：その文意と含意	登田 龍彦	熊本大学教育学部紀要 63 (14.12)	524
The Case of the Disappearing “That”	Ryuji Fujikami Andrew Jones	実践女子大学外国語教育研究センター FLCジャーナル 9 (14.3)	529
現代英米語の語用法	山田 政美	島根県立大学英語の言語と文化研究会 英語の言語と文化研究 24 (14.9)	543
競合するofとfromの区別	深谷 輝彦	椋山女学園大学研究論集 45 人文科学篇 (14.3)	552
each otherとone anotherの語法(2) —Harry Potterの場合—	松島 龍太郎	創価大学英文学会 英語英文学研究 73 (13.9)	557
each otherとone anotherの語法(3) —Hobbitの場合—	松島 龍太郎	創価大学英文学会 英語英文学研究 74 (14.3)	583
日本における英語標識表記の認識度 —147の英語表記調査—	井手 裕美	大成学院大学紀要 16 (14.3)	593
単一／複合判断の表出と否定的評価を表すナドの2種	井戸 美里	筑波大学大学院 筑波応用言語学研究 21 (14.12)	597
On Whom in American English from 1990: A Study Based on the Corpus of Contemporary American English	Shota KIKUCHI	東京大学大学院総合文化研究科 言語情報科学 12 (14.3)	604
価値があるとはどのようなことか —Value, price, costに関する価値評価の認知と接辞による意味反転の動機づけ—	有光 奈美	東洋大学経営学部 経営論集 82 (13.11)	613
映画を使ったことばの研究の一例 —英語では目上の人に命令文を使えるか？	成岡 恵子	東洋大学通信教育部 東洋通信 49-3 (12.6)	619
分詞構文について	波多野 満雄	東洋大学文学部 白山英米文学 38 (13.2)	621
記述的語法研究：She closed the door behind her.の解釈を中心に	木内 修	東洋大学大学院紀要 49 文学研究科 哲学・仏教学・中国哲学・英文学・史学・教育学・英語コミュニケーション専攻 (13.3)	632
had better 考	木内 修	東洋大学大学院紀要 50 文学研究科 哲学・インド哲学仏教学・英文学・英語コミュニケーション専攻 (14.3)	641

Continue to～とcontinue～ingについて —文法書・辞書間の説明の違いをどうするか：教員の立場より—	和田 勝 明	常磐会学園大学研究紀要 14 (14. 3)	651
動詞sufferと名詞injury,diseaseの連語関係	佐藤 利 哉	獨協医科大学 語学・教養科目紀要 36 (13. 12)	658
‘Do you have～?’ 構文の初出年代をめぐって	竹田津 進	長崎県立大学経済学部論集 46-4 (13. 3)	666
英語前置詞beforeとafter	佐々木 剛 志	南山大学 アカデミア 文学・語学編 95 (14. 1)	683
On the Scope of Bare Plural Noun Phrases in English	Shinsuke Homma	新潟大学教育学部研究紀要 6-2 人文・社会科学編 (14. 3)	692
コーパス言語学の新しい展開	荻野 綱 男 安達 信 明 浜野 明 大 他3名	日本大学文理学部人文科学研究所 研究紀要 87 (14. 3)	698
生成文法理論に基づく叙述的所有表現の一考察：普遍的特性で規定されている部分と経験により獲得される部分	松 藤 薫 子	日本獣医生命科学大学研究報告 63 (14. 12)	728
トラブルトークにおける英語話者の否定文発話に対する聞き手の応答：“yeah”と“no”	鹿 野 浩 子	日本女子大学大学院 Veritas 35 (14. 3)	732
動詞takeを非中心的直示動詞とみなすことに対する考察	岡 良 和	人間環境大学 人間と環境 5 (14. 11)	743
条件文の時制解釈についての覚え書き	坂 口 真 理	ノートルダム清心女子大学紀要 外国語・外国文学編 38-1 (14. 3)	750
英語動詞シノニム研究 —provide/supplyの目的語をめぐって—	島 田 祥 吾	広島大学大学院 欧米文化研究 21 (14. 12)	755
On my mindとin my mindの違い	白 谷 敦 彦	福岡大学人文論叢 46-2 (14. 9)	762
Think differentの言語学 —創造的逸脱表現を支える文法のしくみ	鈴 木 亨	山形大学人文学部研究年報 11 (14. 3)	770
コーパス言語学：言語教育への応用と分析の実際	金 城 克 哉	琉球大学 欧米文化論集 58 (14. 3)	779
On the Rescuing of Positive Polarity Items in Japanese	Yasushi Yoshimoto	琉球大学 欧米文化論集 58 (14. 3)	791
Happy New Yearは、「無冠詞」でなく、ゼロ冠詞である —A Happy New Yearは、文法的に間違いではない—	菅 野 憲 司	和洋女子大学英文学会誌 48 (14. 3)	803

** ……特集号・専門誌などに掲載されたために紹介にとどめた論文

*** ……著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

第3分冊 音韻論・比較研究・諸論

音韻論 (PHONOLOGY)

日本人初級英語学習者の発音習得に対するピリーフ	藤原 愛	育英短期大学研究紀要 30 (13.3)	1
英語の非r音方言について	三上 司	茨城キリスト教大学大学院 大みか英語英文学研究 17 (13.12)	6
Margaret Mahy —Doyen of Children's Literature, Master of Rhythm and Rhyme	WILBY Christine	桜美林大学 桜美林論考 人文研究 4 (13.3)	13
Pronunciation of postvocalic /r/ by Japanese learners of English: Some case studies	Margaret Maeda	神奈川大学人文学会 人文研究 181 (13.12)	19
ある英語発音の認知度と指導法について	山本 晃司	関西外国語大学 研究論集 99 (14.3)	32
英語の複合語と句のアクセント —CRとNSRの音響学的検証—	大高 博美	関西学院大学 言語と文化 17 (14.3)	37
Assimilation of English Vocabulary into the Japanese Language	Keith Barrs	神田外語大学 言語教育研究 24 (13.11)	45
Word Stress in Speech Production by L2 English Learners	Takahiro IOROI	高知県立大学紀要 文化学部編 63 (14.3)	51
Distributions of Word Stress Patterns in L1 and L2 Varieties of English	Takahiro Ioroi	高知県立大学 文化論叢 2 (14.3)	60
大学における英語発音指導：授業報告	鈴木 俊二	国際短期大学紀要 28 (14.3)	65
日本語母語話者の「通じる」英語発音とは —intelligibilityに関する研究の整理—	勅使河原三保子	駒澤大学外国語論集 17 (14.9)	78
『實用英會話の秘訣』の発音表記に関する一考察 —カナ表記でどこまで英語音に近づけたのか—	藤上 隆治	実践女子大学外国語教育研究センター FLCジャーナル 9 (14.3)	86
『グレート・ギャッツビー』の音韻とリズム —そのキーツの華麗なるスタイル	長瀬 恵美	就実大学英文学会 就実英学論集 30 (14.1)	93
Perception of /l/ and /r/ in English, French and Spanish by Japanese Listeners	Tomohiko Ooigawa	上智大学 SOPHIA LINGUISTICA 61 (14.3)	105
開音節における強勢母音の長化	藤原 保明	聖徳大学言語文化研究所 論叢 21 (14.3)	115
英語発音表記変遷史 —戦後検定教科書の発音表記の観点から—	松崎 徹	筑紫学園大学・短期大学部 人間文化研究所年報 25 (14.8)	122
Persistent Sensitivity to Acoustic Detail in Non-native Segments: The Perception of English Interdentals by Japanese Listeners	TAKAKO KAWASAKI 他3名	中央大学英米文学会 英語英米文学 54 (14.3)	131

シャドーイングによる学習効果を高めるための工夫 —弱形発音の指導は意味があるのか—	荻原 洋	中部地区英語教育学会紀要 42 (13. 1)	139
OVERCOMING DIFFICULTIES OF THE PRONUNCIATION OF ENGLISH AFFRICATED SOUNDS: /tʃ//dʒ/	KAZUMI ARAKI	津田塾大学 The Tsuda Review 58 (13. 11)	143
リスニング指導におけるキーワード識別力と内容理解度の関係	川村 明美	東京国際大学論叢 言語コミュニケーション学部編 10 (14. 3)	150
英語発音習得における成人学習者の抑制要因	今仲 昌宏	東京成徳大学研究紀要 人文学部・応用心理学部 21 (14. 3)	156
Interrelation Between Onset Cluster Sequences and the Sonority Hierarchy in English	Yuji Kuwamoto	東北大学言語学論集 22 (13. 9)	162
緩み母音と中央化	近藤 清兄	東北大学言語学論集 22 (13. 9)	169
Improving your English Pronunciation	Phillip Backley	東北学院大学論集 英語英文学 97 (13. 3)	181
Another look at the results of an English pronunciation course for Japanese college students	TAGUCHI Kaya	東洋大学 経済論集 39-2 (14. 3)	188
Pronunciation curriculum for a Philippine English speaker	Christopher Pond	徳島文理大学研究紀要 88 (14. 9)	195
日本語を母語とする英語学習者におけるシュワーの脱落についての初期的研究	坂本 洋子	獨協大学大学院 英語文化研究 45 (14. 9)	200
Effectiveness of Dictation in Improving English Listening Ability of Japanese High School Students	Hirokazu YONEZAKI	長岡工業高等専門学校研究紀要 50 (14. 11)	208
英語の強勢について (その6)	田中 章	新潟経営大学紀要 20 (14. 3)	213
不完全中和 (incomplete neutralization) —音韻理論への貢献と残された課題—	松井 真雪	西日本言語学会 ニダバ 43 (14. 3)	220
ニホン英語 (<i>Open Japanese</i>) の類型化研究: 音声編	末延 岑生	兵庫県立大学 人文論集 49 (14. 3)	225
The Myth and the Reality of 'Day'/'Die' Pronunciation in Australian English: A Phonological Comparison of the Diphthongs /æɪ/ and /æɛ/.	SMALL, Lyndon	福岡大学言語教育研究センター紀要 12 (13. 12)	242
言語聴覚士教育と臨床のための音声学II	氏平 明	福岡教育大学教育総合研究所附属特別支援教育センター研究紀要 6 (14. 3)	250
スペイン語母語話者における英語/z/の実現	清水 あつ子	明治大学文学部紀要 文芸研究 124 (14. 10)	257
Nasality as a social identity marker in urban Japanese	Shoko IKUTA	明治学院大学 英米文学・英語学論叢 128 (13. 2)	264
現代英語における綴り字と発音の不一致 —教育的視点に基づく[発音注意]単語の分類—	鴫崎 孝太郎	立教大学 英米文学 74 (14. 3)	271

比較研究 (CONTRASTIVE STUDIES)

Faith in Permanent Translations —Reading Brian Friel's <i>Translations</i> as a staging of John Scotus Eriugena's views on translation—	Rossa Ó MUIREARTAIGH	愛知県立大学外国語学部 紀要 言語・文学編 46 (14. 3)	292
Additional Aspects and Concerns in Humor Translations When Dealing with Translating Humor from English to Korean	J O S u l s e o b Allen Williams	愛知淑徳大学論集 交流文化学部篇 4 (14. 3)	299
翻訳について考える	家 木 康 宏	大阪教育大学英文学会誌 59 (14. 2)	304
John Hollander著 <i>Rhyme's Reason</i> 翻訳 [1]	武 田 雅 子 岡 村 眞紀子	大阪樟蔭女子大学研究紀要 2 (12. 1)	311
John Hollander著 <i>Rhyme's Reason</i> 翻訳 [2]	武 田 雅 子 岡 村 眞紀子	大阪樟蔭女子大学 英語と文化 2 (12. 3)	314
John Hollander著 <i>Rhyme's Reason</i> 翻訳 [3]	武 田 雅 子 岡 村 眞紀子	大阪樟蔭女子大学研究紀要 3 (13. 1)	320
John Hollander著 <i>Rhyme's Reason</i> 翻訳 [4]	武 田 雅 子 岡 村 眞紀子	大阪樟蔭女子大学 英語と文化 3 (13. 3)	324
John Hollander著 <i>Rhyme's Reason</i> 翻訳 [5]	武 田 雅 子 岡 村 眞紀子	大阪樟蔭女子大学 英語と文化 4 (14. 3)	330
英語と日本語の受身表現	姫 田 慎 也	大阪電気通信大学 人間科学研究 15 (13. 3)	341
英語的な表現と日本語的な表現	李 春 喜	関西大学外国語学部紀要 10 (14. 3)	348
Active Learning の教材としての三重文肢構造(Tricolon) —言語文化的視点から見た日英語表現の文化的相違の多様性—	吉 村 耕 治	関西外国語大学 研究論集 100 (14. 9)	352
Shiki's "Kakehashi Chronicle": Research Notes and English Translation	Daniel C. Strack	北九州市立大学外国語学部紀要 138 (14. 12)	361
擬音語・擬態語に関する日英対照研究 —Beatrix Potter 「The Tale of Peter Rabbit」他とその日本語訳を観察対象として	西 村 香奈絵	近畿大学教養・外国語教育センター紀要 外国語編 5-1 (14. 7)	382
英日翻訳の多次元シフト —名詞・代名詞をめぐって	河 原 清 志	金城学院大学論集 人文科学編 10-2 (14. 3)	391
英独仏対照言語学の理論的基礎付け	大 月 実	言語研究学会 言語の世界 32-2 (14. 12)	401
申し出表現の形式 —日本語・中国語・英語・韓国語の対照研究—	楊 吟	神戸大学文学部国語国文学会 国文論叢 46 (13. 3)	405
思考動詞の日英対照研究 —村上春樹の『海辺のカフカ』を題材として—	濱 側 桃	神戸女子大学英文学会 Tabard 28 (13. 3)	414

『おなじまき鳥クロニクル』における引用部と伝達部の日英対照研究	濱 側 桃	神戸女子大学英文学会 Tabard 29 (14. 3)	420
「交渉」における日本語と英語の対照研究 — ビジネス日本語テキストとビジネス英語テキストを通して—	橘 佳代子	國學院大學大学院文学研究科論集 40 (13. 3)	426
日本語と英語の統語的対照と関連する事柄について(1)	森 安 秀 之	就実大学・就実短期大学 就実論叢 43 (14. 2)	433
日英語の事象無効化 — 因果連鎖構造からの分析に向けて—	江 連 和 章	上智大学 SOPHIA LINGUISTICA 61 (14. 3)	439
Chiyoko's Fuji: Selected excerpts from the English translation of <i>Fuyō-Nikki</i> (1896) How a Noh-master's daughter helped her husband to survive 82 days on Mt Fuji in mid-winter	Harumi YAMADA	仁愛大学研究紀要 人間学部篇 12 (14. 3)	447
The Monkey's Stool A Translation of Kenji Miyazawa's tale 『さるのこしかけ』	George Wallace	大東文化大学 英米文学論叢 44 (13. 3)	455
The Fur of the Arctic Mouse A translation of Kenji Miyazawa's story 『氷河鼠の毛皮』	George Wallace	大東文化大学 英米文学論叢 45 (14. 3)	459
琉球古典音楽の詩歌の日・英・西語 訳 III-2	田 仲 勉	大東文化大学紀要 52 人文科学 (14. 3)	465
The Ghostly Tracks A Translation of Kenji Miyazawa's tale 『化物丁場』	George Wallace	大東文化大学紀要 52 人文科学 (14. 3)	474
On English Initial Clusters of Two/Three Consonants : For Teaching Pronunciation to Japanese Learners of English	Ryuji Fujikami	東京国際大学論叢 商学部編 88 (13. 9)	477
絵本における語り手の視点 : 英語絵本とその日本語翻訳の質的分析	成 岡 恵 子	東洋大学法学会 東洋法学 57-1 (13. 7)	484
<i>A Primer of the English Constitution and Government</i> と訳書『英国憲法論』の解題	小野澤 隆	常葉大学健康プロデュース学部雑誌 8-1 (14. 3)	497
和英辞典における日の丸及び日の丸弁当の記述に関する一考察	鈴 木 聡	鳥羽商船高等専門学校紀要 36 (14. 2)	501
An Analysis of “Karakuri Funniest English”: The Collaborative Interactions between an American Interviewer and Japanese Interviewees	Shizuko OZAKI	名古屋文理大学 紀要 14 (14. 3)	507
英語とモンゴル語における語彙アスペクトと進行形の共起性について	MANDAKH Oyunchimeg	西日本言語学会 ニダバ 43 (14. 3)	***
The Existential Expression of English and Italian —The Derived Sentences from the Small Clause Structure and the Unaccusative Structure—	Takafumi UENO	西日本言語学会 ニダバ 43 (14. 3)	513
補助動詞「みる」の翻訳可能性について — 芥川龍之介「鼻」と其の英訳を資料として—	霜 崎 實	日本エドワード・サピア協会研究年報 28 (14. 3)	518
日英新聞コーパス及びBCCWJ比較に基づく二字漢語動名詞使用の分析	田 辺 和 子 中 條 清 美	日本女子大学 紀要 文学部 63 (14. 3)	525
古馴染みとひいき — 『枕草子』の一段落を英語で読む—	津 田 克 巳	日本文理大学紀要 42-2 (14. 10)	531

日本映画の英語字幕における訳出要因について —制作プロセスと視聴者に着目して— 異文化対照法としての重訳	篠原 有子	日本通訳翻訳学会 通訳翻訳研究 14 (14. 12)	536
著名翻訳家・テキスト分析・可視性概念 —村上春樹にみる同化・異化論の進展— 英語の単純過去形とそれに対応するモンゴル語の形式および表現	Nguyen Thanh Tam 明石 元子	日本通訳翻訳学会 通訳翻訳研究 14 (14. 12)	545
マンハルトのドイツ語からフレイザーの英語へ —詩的散文としての翻訳引用— 意味変化の規則性(翻訳) 第4章	マダダフ オユンチメグ 横道 誠	日本比較文化学会 比較文化研究 110 (14. 2)	***
日本語の体験的把握に表れる〈視覚性〉〈感覚・感情性〉〈共感性〉 —対応する英語表現との対比の観点から— 日本の歌を英訳する(2)	日野 資成 尾野 治彦	福岡学院大学大学院人文科学研究科紀要 比較文化 11 (14. 3)	562
Shelleyの“Letter to Maria Gisborne”訳註(その1)	山岸 勝榮	北海道武蔵女子短期大学紀要 46 (14. 3)	594
Shelleyの“Letter to Maria Gisborne”訳註(その2)	原田 博	明海大学 外国語学部論集 26 (14. 3)	636
Shelleyの“Letter to Maria Gisborne”訳註(その3)	原田 博	山梨大学教育人間科学部紀要 2-2 (01. 3)	646
Shelleyの“To a Sky-Lark” —その注釈と翻訳	原田 博	山梨大学教育人間科学部紀要 3-1 (01. 12)	655
日英語の移動表現 —英語小説の日本語訳を題材に—	原田 博	山梨大学教育人間科学部紀要 3-2 (02. 3)	663
Comparative Study of Japanese and English Sociolinguistic Patterns of Making Requests	出水 孝典	山梨大学教育人間科学部紀要 15 (14. 3)	668
日本語・英語・中国語の新聞の社説に現れる Stance表現と Engagement表現 —中国語の特徴を中心に—	出 水 孝 典	立命館大学英米文学会 立命館英米文学 23 (14. 1)	676
日本語と英語の違い(5): 「～れる・られる」と受動態	Kayoko Shiomi Keiichi Nakabachi	立命館大学経営学会 立命館経営学 52-4・5 (14. 1)	687
諸論 (MISCELLANEOUS)	L e e 凧 子 楊 彩 虹	立命館大学大学院 Studies in language science 3 (13. 3)	695
英語の新作能『漂炎』 —27年目の回顧—	坂本 正雄	和歌山大学学芸学会 学芸 60 (14. 3)	704
	ジャニーン・バイチマン	お茶の水女子大学比較日本学教育研究センター研究年報 9 (13. 3)	708

Glocalization, English, and Education in Languages of Lesser Power	Fred E. Anderson	関西大学 東西学術研究所紀要 46 (13. 4)	720
Morphemic Code-Switching in Japanese/English Bilingualism	武藤輝昭	関西外国語大学留学生別科日本語教育論集 23 (13. 12)	727
英語社内公用語化に関する一考察	小林一雅	近畿大学文芸学部論集 文学・芸術・文化 26-1 (14. 9)	740
Globalizationと英語	加藤憲明	作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 作大論集 4 (14. 3)	751
Barriers to communication with 'Chinese English' speakers	Tony Brown Eri Hirata	長崎大学教育学部紀要 人文科学 79 (13. 3)	758
観光英語(5): 重要文化財の天守を有する宇和島城、伊予松山城、松江城の案内板の英語	福島一人	文教大学 情報研究 50 (14. 1)	762
観光英語(6): 世界遺産に登録されている広島県宮島の案内板の英語	福島一人	文教大学 情報研究 51 (14. 7)	780
国際貢献のための日本英語	梅田紘子	武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要 11 (14. 3)	795
World Englishes	Kiyoshi Nagamori	立正大学英文学会 英文學論考 39 (13. 3)	799

*** ……著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

第4分冊 言語文化・英学・文体論・史的研究

言語文化 (LANGUAGE AND CULTURE)

ステレオタイプに学ぶ異文化理解と読み取る力の育成 ～映画に見る二項対立～	花 光 里 香 大 月 敦 子 清 水 純 子	映画英語教育学会 映画英語教育研究 18 (13.3)	1
Alice's Adventures through Key Words:with special reference to her positions	Akiko INAKI Tomoko OKITA	追手門学院大学 国際教養学部紀要 7 (14.1)	8
英語聖書における外国語の影響	佐 藤 勝	欧米言語文化学会 欧米言語文化研究 Fortuna 24 (13.3)	19
Jen Hadfieldの言語実験室 ～Nigh-No-Place (T. S. Eliot Prize, 2008)をよむ～	岡 田 和 也	岡山大学大学院教育学研究科 研究集録 155 (14.2)	25
カナダ英語の背景 —カナダの暮らしと言語(その5)—	浅 田 壽 男	関西学院大学 社会学部紀要 118 (14.3)	28
ことばと文化の学び: 「いつか/ずっと役立つ言語文化論」序論	仲 潔	岐阜大学教育学部研究報告 人文科学 62-1 (13.10)	38
現代アメリカ英語文化点描: 8つの議論	山 田 政 美	島根県立大学英語の言語と文化研究会 英語の言語と文化研究 23 (14.3)	46
英語ブランド名の言語と文化(2)	田 中 芳 文	島根県立大学英語の言語と文化研究会 英語の言語と文化研究 23 (14.3)	59
さらなる英語商品名の表現を求めて	竹 中 裕 貴	島根県立大学英語の言語と文化研究会 英語の言語と文化研究 23 (14.3)	66
英語ブランド名の言語と文化(3)	田 中 芳 文	島根県立大学英語の言語と文化研究会 英語の言語と文化研究 24 (14.9)	71
日本と英語のなぞなぞ比較(3) —反義語・反復表現を含まないなぞの日英比較、「なぞなぞ」の特徴—	清 海 節 子	駿河台大学論叢 47 (14.1)	76
日本のことわざと英語のことわざ	今 野 真 二	清泉女子大学言語教育研究所 フォーラム 10 (14.7)	93
諺研究の展望 —動物の諺の分析—	藤 原 保 明	聖徳大学大学院 言語文化研究 12 (13.12)	97
英語のblueにおける抽象的意味(悲観的な)の創発をめぐる一考察 —歴史と文化と身体性から読み解く青と悲観の関係性—	新 谷 真 由	筑波大学 論叢 現代語・現代文化 11 (13.10)	104

Oral Popular Culture, Orality and Writing in Charles Dickens's <i>Bleak House</i>	Yui Nakatsuma	東京女子大学紀要 論集 63-2 (13. 3)	115
サミュエル・ダニエルの『ディーリア』における数のシンボリズム	大木 富	日本英語英文学会 日本英語英文学 24 (14. 12)	126
Institutionalizing Culture: Role of Appraisal in Story Genres	Hyo Chang Hong Shinji Kawamitsu	日本機能言語学会 PROCEEDINGS OF JASFL 7 (13. 10)	139
Paddington Bear物語におけるmarmaladeの意味	福本 由紀子	武庫川女子大学英文学会 Mukogawa literary review 50 (13. 3)	144
Cultural Values and Their Importance in Speech Interaction: Interview Comments on Particular Conversational Features	Kayo FUJIMURA- WILSON	安田女子大学 英語英米文学論集 22 (13. 2)	154
An Acoustic Analysis of English and Japanese Jokes: Focusing on Intensity	KADOOKA Ken-ichi	龍谷大学 龍谷紀要 35-1 (13. 9)	162

英学 (ENGLISH STUDIES)

岡倉覚三の英文著作 —明治維新観を中心として	清水 恵美子	茨城大学五浦美術文化研究所紀要 五浦論叢 21 (14. 11)	—
アストン『英訳日本紀』脚注抄訳稿(4)	虎尾 達哉	鹿児島大学 鹿大史学 58 (11. 2)	170
アストン『英訳日本紀』脚注抄訳稿(5)	虎尾 達哉	鹿児島大学 鹿大史学 60 (13. 2)	177
幕末・明治初期の英和辞書における数学記号一覧表について	上垣 渉	岐阜聖徳学園大学紀要 教育学部編 53 (14. 2)	183
修善館の英語教育 —明治時代の試験問題について—(1)	安部 規子	久留米工業高等専門学校紀要 30-1 (14. 9)	194
「新事物を教ふるに當りては必ず既に知れる事物と比較し」 —岡倉由三郎「外国語教授新論」に於ける英語教授法とその教育的背景—	内丸 公平	國學院大學紀要 52 (14. 1)	199
商事法和英辞典編纂資料(抜粋) —その6—	木宮直仁 川博	東京海洋大学研究報告 9 (13. 2)	211
明治初期公立小学校における英語教授計画の一考察 —京都番組小学校の学校所蔵文書の分析を基に—	田畑 きよみ	東京国際大学論叢 国際関係学部編 19 (13. 9)	220
新発見の新島英文資料	北垣 宗治	同志社大学 同志社談叢 34 (14. 3)	226
明治初期における京都番組小学校の課業表を採用した学校の英語教育(1)	田畑 きよみ	日本英語教育史学会 日本英語教育史研究 29 (14. 5)	243

明治期の小学校英語教授法研究(5) — 忝田與惣之助『英語教授法綱要』の翻刻と考察—	江利川 春 雄	和歌山大学教育学部紀要 人文科学 64 (14. 2)	253
文体論 (STYLISTICS)			
ビジネスメールの言語学的研究：インドネシアの日系企業における日本語および英語のメールをもとにして	ミフタクル・ アムリ	愛知学院大学大学院 文研会紀要 24 (13. 3)	257
English Encoding of Onomatopoeic Expressions in the Works of Kenji Miyazawa	奥 村 和 己	岩手大学大学院人文社会科学部研究紀要 23 (14. 6)	***
「語り手」を意識した英語リーディング —「批判的味読」の具体例—	鈴 木 基 伸	桜花学園大学学芸学部研究紀要 Journal of the School of Liberal Arts 5 (13.)	268
Graded Readersと原作の文体の違い —推論を中心に—	松久保 暁 子	桜美林大学 桜美林論考 言語文化研究 5 (14. 3)	278
Political balladsがもたらしたもの —Yeatsにおける政治と文体	原 田 美知子	桜美林大学世界文学会 桜美林世界文学 10 (14. 3)	287
Violations of the Adjunct Condition in <i>David Copperfield</i>	Keiichiro Kobayashi	関東学院大学工学部 科学／人間 43 (14. 3)	293
アダム・スミスの修辞学講義と英文学の誕生	浦 口 理 麻	サウンディングズ英語英米文学会 SOUNDINGS 39 (13. 12)	296
Swift's <i>Proposal for Correcting English and Gulliver's Travels</i> : Satirist against Theorist	Maiko Shimokawa	上智大学 上智英語文学研究 39 (14. 10)	304
Faulknerの“New Orleans”：新たな可能性を切り開いた散文詩	並 木 信 明	専修大学学会 専修人文論集 95 (14. 11)	312
自称詞と対称詞、および他称詞に関する一試論 —英米小説を資料として	杉 山 眞 弓 大 山 中 勝	千葉大学言語教育センター 言語文化論叢 8 (14. 3)	323
アメリカ英語の特色についてRobert Anderson : <i>Tea and Sympathy</i> を中心として	横 瀬 弘 幸	筑波学院大学紀要 9 (14. 3)	333
単語相対分布の数値指標	橋 本 直 樹	東京家政大学人文学部 英語英文学研究 20 (14. 9)	***
語りの技巧としての「意識の流れ」： <i>Mrs. Dalloway</i> (1925)における声と焦点化のダイナミズム	遠 藤 健 一	東北学院大学論集 98 英語英文学 (14. 3)	337
ハーディのユーモア —「惑える牧師」の言語表現(1)—	宮 崎 隆 義	徳島大学 言語文化研究 22 (14. 12)	343
英国王ジョージ6世のスピーチにおけるワードペアの劇的効果	青 木 繁 博	新潟青陵大学短期大学部研究報告 43 (13. 4)	352

Translation Shifts in Japanese-English Translations of Speech Scripts Case Study of Two Speeches Given by Empress Michiko	TOSHIOKA Saeka	日本通訳翻訳学会 通訳翻訳研究 14 (14. 12)	359
コーパス文体論の可能性：プロンテ姉妹の文体的位相を例に	石川 慎一郎	日本文体論学会 文体論研究 60 (14. 3)	367
<i>Adventures of Huckleberry Finn</i> におけるHuckの語りに関する一考察	江頭 理江	福岡教育大学紀要 63 第1分冊 文科編 (14. 2)	379
アーネスト・サトウ ウルグアイ日記抄 一転記・注解—[X] (1891. 3. 2-1891. 4. 15)	長尾 史郎	明治大学教養論集 495 (13. 9)	384
アーネスト・サトウ ウルグアイ日記抄 一転記・注解—[XI] (1891. 4. 18-1891. 4. 30)	長尾 史郎	明治大学教養論集 497 (14. 1)	407
アーネスト・サトウ ウルグアイ日記抄 一転記・注解—[XII] (1891. 5. 1-1891. 5. 30)	長尾 史郎	明治大学教養論集 502 (14. 9)	426
二言語話者の談話における「コードスイッチング」・「コードミキシング」の必要性—英国に住む日本人の場合—	藤村 香予	安田女子大学紀要 41 (13. 2)	436

史的研究 (HISTORICAL STUDIES)

語源に基づく慣用連語「動詞+名詞+前置詞」の分類	神谷 昌明	豊田工業高等専門学校研究紀要 46 (14. 1)	441
have完了形の通時的変遷 一史的コーパスを資料として—	秋葉 倫史	日本大学英文学会 英文学論叢 62 (14. 3)	453

古英語 (OLD ENGLISH)

古英語awecanとラテン語concitareについて	石原 覚	愛知県立大学外国語学部紀要 言語・文学編 46 (14. 3)	463
Word Pairs as Components of Variation in Old English Poetry	Michiko OGURA	慶應義塾大学大学院 Colloquia 35 (14. 12)	473
<i>Beowulf</i> 902b-04a行再考	福田 一貴	駒澤大学総合教育研究部紀要 7 (13. 3)	483
古英語の本文批評と <i>Beowulf</i> (9)	網代 敦	大東文化大学 英米文学論叢 45 (14. 3)	492
古英詩 <i>Andreas</i> における動詞 <i>weorðian</i> について	衛藤 安治	福島大学 人間発達文化学類論集 17 (13. 6)	506
古英詩 <i>Andreas</i> における「不適切な表現」についての覚え書き	衛藤 安治	福島大学 人間発達文化学類論集 20 (14. 12)	510
Progressive Constructions in English and Germanic Languages: A Diachronic Analysis(1) Old English Expanded Form 【beon/wesan -ende】	Sumiko IMAI	法政大学 言語と文化 11 (14. 1)	516

中 英 語 (M I D D L E E N G L I S H)

「『バースの女房の話』の序と物語」用語索引(7)	東 好 男	大阪産業大学論集 人文・社会科学編 20 (14. 2)	534
「『バースの女房の話』の序と物語」用語索引(8)	東 好 男	大阪産業大学論集 人文・社会科学編 21 (14. 6)	545
「『修道士の話』の序と物語」用語索引(1)	東 好 男	大阪産業大学論集 人文・社会科学編 22 (14. 10)	557
チョーサーの詩行におけるトーンの醸成 —チョーサーの情緒的言語研究試論—	隈 元 貞 広	熊本大学 文学部論叢 104 (13. 3)	573
Chaucer's <i>Second Nun's Tale</i> and the Problem of Lay and Religious Self-Formation	Yoshinobu Kudo	慶應義塾大學 藝文研究 106 (14. 6)	583
John Trevisa's Middle English Translation of Ranulph Higden's <i>Polychronicon</i> Based on Senshu University Library, MS 1-A Diplomatic Edition(4)	Kazutomo Karasawa Kazutaka Fukuda	駒澤大学文学部研究紀要 72 (14. 3)	592
<i>The Canterbury Tales</i> の <i>The Reeve's Tale</i> における‘camus nose’について	砂 澤 健 治	仙台白百合女子大学紀要 18 (14. 2)	641
ME/a:/とME/e:/の融合について	平 郡 秀 信	中京大学 国際教養学部論叢 6-1 (13. 9)	645
中英語におけるフランス語借入語強勢の史的变化に関する一考察	田 中 明 子	名古屋文理大学 紀要 14 (14. 3)	673
A Bibliographical Study of R.Pynson's <i>Reynard the Fox</i> (1494 and c. 1500-1506): Textual Editing and Derivation	Saori Tsuji	日本英文学会 英文学研究 支部統合号 5 九州 英文学研究 29 (13. 1)	677
Plural Ending- <i>n</i> in the <i>Paston Letters</i>	Kazuo Mano	日本大学通信教育部通信教育研究所 研究紀要 27 (14. 3)	683
On Beauty and its Effects in Fragment I of Chaucer's <i>Canterbury Tales</i> : The Pattern of Fading Pulchritude and Cascading Prurience	D.JONES	福井大学教育地域科学部紀要 3 (13. 1)	688

近 代 英 語 (M O D E R N E N G L I S H)

近世初期英文学におけるエコーの系譜についての覚え書き	境 野 直 樹	岩手大学英語教育論集 16 (14. 3)	699
シェイクスピア英語における語順倒置のメカニズムについて	小 川 勉	愛媛大学 法文学部論集 人文学科編 34 (13. 2)	706
Locating the Aesthetic in Shakespeare's <i>Macbeth</i>	Adam Hailes	北九州市立大学 外国語学部紀要 136 (13. 12)	717
The Development of the Vowel System in Early Modern English: With Special Reference to the Pronunciation of Tyndale and Shakespeare(4)	Kazuo Morishima	京都外国語大学 SELL 30 (14. 3)	726

Translation Problems: Franco Moretti's "Distant Reading" Concept, <i>Hamlet</i> , Haiku, Waka and Novels	Noboru Fukushima	国際文化表現学会 国際文化表現研究 9 (13.3)	739
シェイクスピアのソネットの言語と文体	田中 實	大東文化大学紀要 52 人文科学 (14.3)	746
Rivalry between Interrogative <i>who</i> and <i>whom</i> in Shakespeare's Plays	Kiriko SATO	大東文化大学語学教育研究所 語学教育研究論叢 31 (14.2)	758
'Nonstandard' Uses of the Relativizers <i>Who</i> and <i>Whom</i> in Shakespeare's Drama	Shota KIKUCHI	東京大学大学院総合文化研究科 言語情報科学 11 (13.3)	768
Henry VIIIについて (その3)	田中 章	新潟経営大学紀要 20 (14.3)	777
Elizabeth: The Last Ten Years of Her Reign A Study from the perspective in Shakespeare's English History Plays	LEE Choon Mi	プール学院大学研究紀要 54 (13.12)	781
Shakespeare Reception Studies in Japan: A Brief Historical Survey	Takashi Sasaki	武蔵野学院大学大学院研究紀要 7 (14.3)	788
Corvino's Crime and Punishment: Jonson's <i>Volpone</i> and Shakespeare's <i>Measure for Measure</i>	Yuto KOIZUMI	早稲田大学英文学会 英文学 99 (13.3)	796

*** ……著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

第 5 分冊 英語教育

英語教育 (TEFL)

英文ライティング指導のための和文英訳	杉浦 正好	愛知学院大学文学部紀要 43 (13.3)	1
否定証拠を中心とした明示的英文法指導の効果検証 ―予備的調査―	白畑 知彦	愛知教育大学大学院・静岡大学大学院 教科開発学論集 1 (13.6)	7
Written and Spoken Peer Feedback in EFL Writing Instruction: A Case with Japanese Undergraduates	Keiko HIROSE	愛知県立大学外国語学部 紀要 言語・文学編 46 (14.3)	12
大学英語教育のあり方について ～一般学術目的の英語に焦点を当てた教材の作成を通して	大門 正幸	愛知県立大学高等言語教育研究所年報 ことばの世界 6 (14.3)	26
Meaning of Introducing ICT into English Education in Japan: From L2 WTC Perspectives	NOGUCHI Tomoka	愛知淑徳大学言語コミュニケーション学会 言語文化 21 (13.3)	34
学習英文法設計の基本概念(1) ―動词的用法基盤モデルから言語運用のための言語知識を整理する―	今井 隆夫	愛知みずほ大学 瀬木学園紀要 7 (13.7)	39
The Impact of Digital Storytelling & Blog Activities on Improving the English Proficiency of Native Japanese	Hiroyuki Obari	青山学院大学経済研究所 経済研究 5 (13.3)	44
Student Expectations Regarding English-Language Use in Life after University	Ben Grafström	秋田大学教育推進総合センター 教養基礎教育研究年報 15 (13.3)	53
英語文型理論の現状と課題 ―厳格論からの実践的「統合語学」の提言―	岩佐 富男	足利短期大学研究紀要 33-1 (13.3)	56
表現とコミュニケーション ―日本の特質と外国語教育―	村越 行雄	跡見学園女子大学 コミュニケーション文化 7 (13.3)	60
時事・経済英語授業における用法基盤モデルの応用	宮田 宗彦	茨城大学人文学部 人文コミュニケーション学科論集 16 (14.3)	72
言語の社会性に基づく英語教育政策の課題	野村 幸代	茨城大学人文学部 人文コミュニケーション学科論集 17 (14.9)	82
A Five-Session Task-Based Approach to Epistemic Modality: The Effects of a Focused Communication Task	Harumi Suga	宇都宮大学 外国文学 63 (14.3)	87
英語教育と文学的教材(20) ―ライティングの視点から―	大和田 哲也 幡山 秀明	宇都宮大学教育学部 教育実践総合センター紀要 37 (14.7)	97

英語教育と文学的教材(21) —「グローバル化に対応した英語教育改革」の中で—	幡山 秀明	宇都宮大学教育学部 教育実践総合センター紀要 37 (14. 7)	101
高専英語教育活動に関する一考察	南 優次	宇部工業高等専門学校研究報告 59 (13. 3)	104
映画を用いた英語の句動詞についての一指導法	松本 知子	映画英語教育学会 映画英語教育研究 19 (14. 3)	108
映像を用いた実践における語彙知識の深まり	ローズ平田昌子 岩下 智彦 谷口 美穂	桜美林大学言語教育研究所 桜美林言語教育論叢 10 (14. 3)	116
グローバル時代における外国語の勉強について	松本 和朗	大阪学院大学通信 44-12 (14. 3)	126
新出単語導入時に偶発的に行うフォニックス指導	吉田 晴世 鄭 京淑	大阪教育大学 教科教育学論集 13 (14. 3)	138
Does It Matter Which Oral English Text You Use : From the Students' Perspective.	Michael "Rube" Redfield	大阪経大論集 64-2 (13. 7)	145
Automatic Essay Classification	Andrew MELLOR	大阪工業大学紀要 人文社会篇 57-2 (13. 2)	149
英語教育における翻訳の役割 —歌詞の翻訳指導の実践から—	円城 由美子 平野 牧子	大阪女学院大学紀要 10 (14. 3)	153
文法教育とディスコース	伊東 武彦	大妻女子大学英文学会 大妻レビュー 47 (14. 7)	163
英語学習における多読と精読の役割	岩中 貴裕	岡山英文学会 PERSICA 40 (13. 3)	170
Examining Focus on Form in a Task-based English Textbook	Yukito SETA JIANG Fan	岡山大学大学院教育学研究科 研究集録 156 (14. 7)	177
Metadiscursive Nouns and Textual Cohesion in Second Language Writing	TAHARA Nobuko	岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要 37 (14. 3)	180
Interrogating code-switching in task-based language teaching	Tim Blankley	小樽商科大学言語センター Language Studies 21 (13. 2)	187
L2 Learners' Lack of Awareness of the Awareness Condition	Akihiro Kano	活水女子大学 活水論文集 英語学科編 56 (13. 3)	194
Aspect and Binding Principle B in L2 Learners	Akihiro Kano	活水女子大学 活水論文集 文学部編 57 (14. 3)	199
外国語教授法の歴史から学ぶ —これからの英語教育で何が必要か—	石黒 敏明	神奈川大学 心理・教育研究論集 34 (13. 11)	205
Teacher Development through Repair: A Conversation Analytic Study of Microteaching	Baikuntha Bhatta	神奈川大学大学院 言語と文化論集 20 (14. 2)	214

英語の聴き取りに見られる傾向と習熟度に関する一考察	数見 由紀子	金沢大学外国語教育研究センター 外国語教育フォーラム 8 (14.3)	235
STUDENT EVALUATIONS AS EFFECTIVE INDICATORS OF LEARNING OUTCOMES: EVIDENCE FROM JAPANESE UNIVERSITY STUDENTS IN ENGLISH LANGUAGE COURSES	MIKO KOBAYASHI JOHN BINTLIFF	金沢大学 言語文化論叢 18 (14.3)	239
日英語複文構造の対照言語学的研究：英語学習者の誤用の観点から	守屋 哲治	金沢大学人間社会学域 学校教育学類紀要 6 (14.2)	249
Teaching English to Science and Engineering Students for the Globalized Age: The Case of Waseda University	Yoshiko Matsumoto	関西英語英米文学会 KWANSAI REVIEW 31 (14.3)	255
<i>How Do Learners Incorporate the Metacognitive Strategies Taught in the Classroom into their Strategy Repertoires?</i>	IKEDA, Maiko	関西大学外国語学部紀要 8 (13.3)	261
<i>On the Effective Use of Broadcast News as Teaching Materials for University English Classes</i>	Shigeru Yamane Kathleen Yamane	関西大学外国語学部紀要 11 (14.10)	270
Considerations and strategies in L2 vocabulary acquisition among Japanese 1 st year university students.	Oliver Dammacco	関西大学 外国語教育フォーラム 11 (12.3)	281
Learner Uptake Reports on an EFL Reading Class in Japan	Toshiyo Nabei	関西大学 外国語教育フォーラム 12 (13.3)	287
短期大学生が間違いやすい英文法項目に関する調査研究	原 めぐみ	関西外国語大学 研究論集 99 (14.3)	295
Acquisition of Null Elements in SLA: A Comparative Study of Japanese EFL Learners and Spanish JFL Learners	Kazumi YAMADA	関西学院大学 言語と文化 17 (14.3)	302
An Analysis of the Correlation between First and Foreign Language Reading Comprehension for Japanese Learners of English	Yutaka Obiga	関西学院大学大学院 言語コミュニケーション文化 11-1 (14.3)	308
Error Analysis of Japanese Learners' English in Teacher Credential Program	Ikuko Ueno	関西学院大学大学院 言語コミュニケーション文化 11-1 (14.3)	315
今後の英語教育における文法指導の位置づけを考える	井上 聡	環太平洋大学研究紀要 8 (14.3)	321
Sustained Content Based Instruction for Beginner ESL Writing Classes: A Preliminary Analysis	Annie Simmelroth	神田外語大学紀要 25 (13.3)	326
Parents' Beliefs and Children's Code-switching	Makiko Tanaka Siwon Park	神田外語大学 言語教育研究 23 (12.11)	339
第二言語学習者のためのテキストの書き換え研究：課題と可能性	和氣 圭子	神田外語大学大学院 言語科学研究 20 (14.3)	355

An Analysis of Lesson Topics within Senior High School English Textbooks in Taiwan: Commonalities with and differences from the Japanese situation	Seiko HIRAI	北里大学一般教育紀要 19 (14. 3)	366
幼児教育現場における英語活動の実態とその方向性	秀 真一郎 木 本 有 香 中 島 眞 吾 他5名	吉備国際大学研究紀要 人文・社会科学系 23 (13. 3)	382
Task-based Language Teaching and Grammatical Accuracy ～An Experiment on Japanese University Students～	Y u k a k o G o	岐阜大学 教師教育研究 10 (14. 3)	386
The Minimal English Test: Its Correlation with the University Entrance Examination (English Part) 2013	Hideki MAKI Ling-Yun FAN Megumi HASEBE 他3名	岐阜大学地域科学部研究報告 34 (14. 2)	391
Bilingual Cognition —Is English learned in Japan cognitively effective?	Chise KASAI Lucas SINCLAIR Jun. A. TAKAHASHI 他5名	岐阜大学地域科学部研究報告 34 (14. 2)	394
The METs 6, 8, and 10: Their Correlations with the University Entrance Examination (English Part) 2013	Hideki MAKI Ling-Yun FAN Megumi HASEBE 他4名	岐阜大学地域科学部研究報告 35 (14. 9)	397
A preliminary report —the effect of the Minimal English Test for Listening, the results from 2012 and 2013	Chise KASAI Lucas SINCLAIR Jun. A. TAKAHASHI 他4名	岐阜大学地域科学部研究報告 35 (14. 9)	402
大学英語教育の目指す方向 —九州大学の新英語カリキュラムの狙い—	鈴 木 右 文	九州大学英語英文学研究会 英語英文学論叢 64 (14. 3)	405
Rote Learning in English Education for Japanese Students: towards more Context-Oriented Multimedia Material	FUYUNO Miharu	九州大学大学院紀要 芸術工学研究 20 (14. 3)	414
Second Language Writing and Learning Contexts: A Descriptive Study of Japanese College English Learners in the Study Abroad and At-home Contexts —Theoretical and Methodological Considerations—	Yoshifumi Kohro	九州国際大学教養学会 教養研究 19-3 (13. 3)	418

日本人英語学習者による定冠詞 <i>the</i> の過剰使用について	伊 東 美 津	九州国際大学教養学会 教養研究 20-2・3 (14. 3)	442
外国語学習成功へのヒント —実践的な学習環境づくりに向けて—	久 保 哲 男	京都外国語大学 SELL 30 (14. 3)	452
異言語教育と言語文化(その5) —英語教育におけるポピュラー・カルチャー導入の論理とその有用性—	上 野 義 和 森 山 智 浩	京都外国語大学 研究論叢 83 (14. 7)	461
英語とマンガで表現する —マンガ専門英語の取り組み—	リッチモンド・ ステイブ 乾 由紀子 渡 辺 紀 子	京都精華大学紀要 44 (14. 3)	474
W.H.Medhurstの“VOCABULARY, ENGLISH AND JAPANESE”について —“do”表記の項目を中心に—	玉 村 禎 郎	杏林大学研究報告 教養部門 30 (13. 2)	486
Using English on the Site of International Cooperation	Kaori Nitta	近畿大学教養・外国語教育センター紀要 外国語編 4-2 (13. 11)	495
カタカナ語を味方につけよう —英語嫌いをなくし、語彙力増強にも効果あり—	辻 本 昌 子	近畿大学教養・外国語教育センター紀要 外国語編 5-1 (14. 7)	503
Relationship between second language speaking and writing skills and modality preference of university EFL students	Kyoko Baba Yuri Takemoto Miho Yokochi	金城学院大学論集 社会科学編 10-1 (13. 9)	511
TOEICテストの会話文における Coherence (一貫性) と発話者の Implicature (含意) —話しことばの談話能力育成のために—	立 花 千 尋	近大姫路大学 教育学部紀要 6 (14. 3)	517
日本語話者の英語語彙学習における身振りの記憶効果 —記述的身振りと遂行的身振り について—	金原 いれいね	釧路公立大学紀要 人文・自然科学研究 26 (14. 3)	526
日本語の心内辞書と英語の心内辞書 —日本人英語学習者における日英語間で対応する 訳語関係にある高頻度形容詞群の意味的クラスタリング構造—	折 田 充 景 小 林 充 景	熊本大学社会文化研究 11 (13. 3)	536
英語母語話者と日本人英語学習者の心内辞書における語彙項目間類似度の比較	折 田 充 景 小 林 充 景 村 里 泰 昭 他4名	熊本大学社会文化研究 12 (14. 3)	543
Productive Use of Grammar: Effects of Three Types of Exercises	KAWAUCHI, Chieko	久留米大学外国語教育研究所紀要 21 (14. 3)	550
A Longitudinal Analysis of Students' Vocabulary Knowledge and the Feasibility of Using CEFR Levels for a Placement Test	Yuji Nakamura Adam Murray	慶應義塾大学日吉紀要 言語・文化・コミュニケー ション 46 (14. 12)	557
英学の終焉と学生の英語力の低下 —それでも英学の終焉は進歩だったのか—	太 田 雄 三	慶應義塾福沢研究センター 近代日本研究 30 (14. 2)	—

Communicative Teachingと発音指導：Reduced pronunciation syllabusが受け入れられる可能性はあるか	本 井 昇	國學院大學 Walpurgis	2014 (14. 3)	563
グローバル化時代における国際化への対応と国際人の養成 ―これからの英語教育を中心に―	吉 田 研 作	国際教育研究所 紀要	19・20 (14. 3)	576
English as a Multicultural Language in Asia and Its Pedagogical Implications	Nobuyuki Honna	国際教育研究所 紀要	19・20 (14. 3)	583
A study of suprasegmental features of English and Japanese: for use in EFL Japanese pronunciation teaching	Miwako KAMIJO	相模女子大学文化研究	31 (13. 3)	589
フィリピン英語留学が言語態度に及ぼす影響：継時的インタビューを手掛かりに	渡 辺 幸 倫 羽井佐 昭 彦	相模女子大学文化研究	32 (14. 3)	598
大学入学レベルにおける英語ライティング能力育成の課題 ―英語総合能力判定テストの結果から―	石 川 希 美	札幌大谷大学社会学部論集	1 (13. 3)	608
非英語専攻生の英語教育に関する一考察 ―新設社会学部における英語教育の在り方を巡って―	柴 田 晶 子	札幌大谷大学社会学部論集	1 (13. 3)	619
大学における外国語・異文化教育	真 鍋 晶 子	滋賀大学経済学会 彦根論叢	400 (14. 6)	630
Japanese University Students' Depth of Vocabulary Knowledge of Four English Utterance Verbs	Marcus Theobald	志學館大学人間関係学部 研究紀要	35 (14. 1)	633
初級英語学習者による詩作に関する考察	丸 山 修	静岡大学教育学部研究報告 教科教育学篇	45 (14. 3)	639
Investigation of Two Types of Vocabulary Learning: Guessing Word Meaning from Context and Consulting the Dictionary	Yoko Ichige	実践女子大学外国語教育研究センター FLCジャーナル	9 (14. 3)	646
スリランカの英語教育政策に見る言語観 ―「光り輝く国」の光と影―	仲 潔	「社会言語学」刊行会 社会言語学	11 (11. 11)	652
小学校における英語学習経験の有無と情意面が中学校3年生の聴解力に及ぼす影響	石 濱 博 之 染 谷 藤 重	上越教育大学研究紀要	33 (14. 3)	660
日本人英語学習者による関係節習得再考 ―「潜在ランク理論」を援用して―	大 場 浩 正	上越教育大学研究紀要	33 (14. 3)	665
Learners' Metanotes (Written Language) on Noticing Gaps and their L2 Proficiency	Masako Ishikawa	城西大学語学教育センター研究年報	7 (13. 3)	670
Japanese students and education tourism : reflections on a two-week English immersion programme in Malaysia	David Williams	城西国際大学紀要	22-6 (14. 3)	677
身体のリズムから言葉のリズムへ ―英語のナーサリーライムを通して	クロード・ ロベルジュ 北 代 美和子	上智大学 SOPHIA LINGUISTICA	61 (14. 3)	685

Conversational Implicatures in Japanese EFL Textbooks	Mariko Yoshida	上智大学 SOPHIA LINGUISTICA 61 (14. 3)	694
Literature and Second Languages: Transcending Linguistic Barriers	Richard Pinner	上智大学 英文学と英語学 50 (14. 2)	703
Research Notes on Materials Development for Content-based Language Learning	Melvin Andrade	上智大学短期大学部紀要 34 (14. 3)	709
Compliments and Responses to Compliments in L2 and L1 Speakers' Interaction: A Discursive Approach	Sachiko Kondo	上智大学短期大学部紀要 34 (14. 3)	718
An Episodic Transcription of a NNS-NNS English Conversation	Timothy Gould	上智大学短期大学部紀要 34 (14. 3)	731
TOEIC Scores: How Many Points Are Enough to Show Progress?	Melvin Andrade	上智大学短期大学部紀要 35 (14. 3)	745
Effective Methods of Teaching “Verb+Noun” Collocations: Japanese EFL learner subcorpus-based analyses	Takako KOBAYASHI	昭和女子大学近代文化研究所 学苑 880 (14. 2)	750
Use of <i>of</i> in “Noun <i>of</i> Noun” Trigrams by Japanese Learners of English	Tomoko Kaneko	昭和女子大学近代文化研究所 学苑 882 (14. 4)	756
全人教育をめざした英語教育 ヒューマニスティック・アプローチの必要性	齊藤涼子 安藤聖子	白百合女子大学 SELLA 43 (14. 3)	762
A Semi-Autonomous English-Learning Activity Utilizing Transcription, Self-Correction, and Memorization: A Pilot Attempt at Development	Matthew HAUCA Maurice SPLICHAL	仁愛大学研究紀要 人間学部篇 12 (14. 3)	774
be to不定詞の意味誘導公式を導入した授業改善への提案	赤羽佑太 上條智緩	信州大学全学教育機構教職教育部 教職研究 5 (12. 6)	777
英文読解のために(6)	長谷信夫	鈴峯女子短期大学 人文社会科学研究集報 61 (14. 12)	790
英語教育における「日本語文型・発想シラバス」開発に向けて	鈴木卓	清泉女子大学紀要 61 (13. 12)	799
Reforms Needed to Move Vocabulary Education from Agony to Ecstasy: Using CALL to Maximize Vocabulary and Language Learning	John Paul Loucky	西南女学院大学紀要 17 (13. 3)	805
英語音読評価項目と熟達度の関係(パイロットスタディー)	鈴木政浩	西武文理大学サービス経営学部研究紀要 25 (14. 12)	811
Changes in Japanese university students' metacognitive knowledge of writing skills and awareness as writers	Eri Fukuda	創価大学 The journal of learner-centered higher education 3 (14. 7)	815

(第6分冊に続く)

第 6 分冊 英語教育

英語教育 (TEFL) (承前)

Using Latent Semantic Analysis to Promote the Effectiveness of Contextualized Vocabulary Learning	HAMADA, Akira	大学英語教育学会 JACET journal	58 (14. 3)	1
Individual Differences in Patterns of Motivation and Conditions that Increase Motivation in L2 Acquisition: A Dynamic Systems Theory Perspective	HIROMORI, Tomohito	大学英語教育学会 JACET journal	58 (14. 3)	11
Intelligibility of Japanese College Freshmen as Listened to by Native and Nonnative Listeners	KASHIWAGI, Atsuko SNYDER, Michael	大学英語教育学会 JACET journal	58 (14. 3)	20
Readiness, Language Contact and L2 Oral Proficiency Development During a One-Semester Study-Abroad Program	MIKAMI, Hitoshi	大学英語教育学会 JACET journal	58 (14. 3)	29
日本語「できる」の多義性が引き起こす“I can”の誤出力 —過剰拡張のタイプと教育的示唆—	小田 希望 ローレンス・ ダンテ 西谷 工平	大学英語教育学会中国・四国支部研究紀要	11 (14. 3)	39
English Use in College Students' Daily Life: Implications for Japanese College English Education	Nozomu SONDA	大学英語教育学会中国・四国支部研究紀要	11 (14. 3)	48
音読による直後の記憶保持と学習項目の内在化に及ぼす効果	佐藤 あずさ	大学英語教育学会中国・四国支部研究紀要	11 (14. 3)	57
英語リスニングにおける単語認知の向上についての研究 —ディクテーションの誤答分析による単語とチャンクのリストを用いて—	小山 尚史	大学英語教育学会中国・四国支部研究紀要	11 (14. 3)	66
Changes of the Cultural Materials of the Junior High School English Textbooks in Japan	Kouki OOKAWA	大学英語教育学会中国・四国支部研究紀要	11 (14. 3)	74
英語によるオーラル・プレゼンテーションの指導効果の探索的検証 —学習者の言語産出面の変化に焦点を当てて—	岩井 千秋	大学英語教育学会中国・四国支部研究紀要	11 (14. 3)	80
英語授業における教師の依頼表現の直接性について	志村 昭暢 白鳥 亜矢子	大学英語教育学会北海道支部 Research Bulletin of English Teaching	8 (11. 3)	87
Using Still Images for Written English Communication	David John WOOD	筑紫女学園大学・筑紫女学園大学短期大学部紀要	9 (14. 1)	96

千葉大学におけるTOEIC IPとTOEFL ITPのスコア分析と経年調査	土肥 充 張 智 君	千葉大学言語教育センター 言語文化論叢 8 (14. 3)	105
近似文字列マッチングによる英文の誤り検出・修正アルゴリズムの開発と英語CALLシステムへの応用	谷口 雄 祐 高橋 秀 夫	千葉大学言語教育センター 言語文化論叢 8 (14. 3)	114
Lingua Franca English, Code-switching, and Language Teaching	Nathaniel Finn	千葉商大紀要 52-1 (14. 9)	122
日本人英語学習者による異文化間能力の検証 ―タスクにおける会話分析を通して―	栗原文子	中央大学英米文学会 英語英米文学 53 (13. 3)	126
Theoretical Linguistics Meets World Englishes: Curriculum for the Structured and Extensive Studies of Language	Naoshi Nakagawa	中京大学国際英語学部紀要 16 (14. 3)	137
明示的文法説明の有効性と限界 ―物質名詞の単数形・複数形の習得を例にとつて―	白畑 知 彦 横田 秀 樹	中部地区英語教育学会紀要 42 (13. 1)	142
音読・シャドーイングとスピーキングの関係	飯野 厚 藪田 由己子	中部地区英語教育学会紀要 42 (13. 1)	146
流暢な読みにおける効率的な文法処理能力の役割	野呂 忠 司	中部地区英語教育学会紀要 43 (14. 1)	150
The Effectiveness of Shadowing Practice on L2 Summary Writing	OTSUKA Chie	中部地区英語教育学会紀要 43 (14. 1)	154
音読・シャドーイングがスピーキングに与える効果	飯野 厚	中部地区英語教育学会紀要 43 (14. 1)	158
第二言語習得における他動詞の誤り ―自動詞構造の過剰乗化―	近藤 隆 子	中部地区英語教育学会紀要 43 (14. 1)	161
コミュニケーション能力を伸ばす文法指導が動機づけに与える影響	城野 博 志	中部地区英語教育学会紀要 43 (14. 1)	165
現在完了形の誤り分析 ―過剰使用と過少使用―	占部 昌 藏 白畑 知 彦	中部地区英語教育学会紀要 43 (14. 1)	169
高校生の英語語彙学習方略に関する研究 ―高校1年次と2年次の比較―	赤瀬 正 樹	中部地区英語教育学会紀要 43 (14. 1)	172
The Position of Strategy and Speakers' Positive Attitudes	IIO Teruhiro	中部地区英語教育学会紀要 43 (14. 1)	176
English in the Linguistic Landscape of Japan: Corpus Studies for Language Acquisition	LETO Mario	筑波大学外国語センター 外国語教育論集 35 (13. 3)	180
Sherlock Holmes: Language learning by Literature	BODE Jeroen	筑波大学外国語センター 外国語教育論集 35 (13. 3)	186
TED TALKS, LIBERAL ARTS, AND THE SECOND LANGUAGE CLASSROOM	STEVE ENGLER	津田塾大学 The Tsuda Review 59 (14. 11)	192
STRATEGY USE BY EFL LEARNERS TO NAVIGATE THROUGH HYPERTEXT	MASAE KONISHI	津田塾大学 The Tsuda Review 59 (14. 11)	198

SOCIAL INTERACTIONAL ACCOUNTS OF ORAL COMMUNICATION IN THE ALTERNATIVE LANGUAGE CLASSROOM: WHAT IS BEING LEARNED?	NICHOLAS MARSHALL	津田塾大学 The Tsuda Review 59 (14. 11)	212
日本の大学教育における英語学習の成功への道のり	浜田 美佐子	東海学院大学紀要 7 (14. 3)	222
ナチス政権下の政治的手段としての英語教科書 (前編)	寺田 寅彦	東京大学大学院 超域文化科学紀要 18 (13. 11)	227
ナチス政権下の政治的手段としての英語教科書 (後編)	寺田 寅彦	東京大学大学院 超域文化科学紀要 19 (14. 10)	235
<i>A Student's Introduction to English Grammar</i> の問題点について	糸川 健	東京外国語大学大学院 RANDOM 34 (13. 3)	244
THE RELATIONSHIP BETWEEN THE METALINGUISTIC AWARENESS AND ENGLISH PROFICIENCY OF JAPANESE EFL LEARNERS	Shintaro Akiyama	東京学芸大学大学院 LEO 43 (14. 11)	263
DOES REPEATING WORDS REALLY EFFECTIVE ON VOCABULARY RETENTION?: IN THE CASE OF CONNECTING PRONUNCIATION OF WORDS WITH THEIR VISUAL IMAGE	Shunsuke Uchino	東京学芸大学大学院 LEO 43 (14. 11)	279
Sentence Repetition as a Measure of Learners' English Proficiency	Sunada Midori	東京学芸大学大学院 学校教育学研究論集 29 (14. 3)	292
日英語母語獲得過程に見られるフラグメント/ショートアンサーの統語操作	根本 貴行	東京家政大学人文学部 英語英文学研究 20 (14. 9)	302
Language awareness in a young L2 learner	Machiko ACHIBA	東京女子大学紀要 論集 64-1 (13. 9)	308
A Young L2 Learner's Sociopragmatic Awareness Compared with L1 English Speakers	Machiko Achiba	東京女子大学紀要 論集 64-2 (14. 3)	318
Language Play and Second Language Writing: Teaching Playful English Writing in a Japanese Context	Kazutake KITA	東京理科大学紀要 教養篇 46 (14. 3)	334
The Acquisition of <i>Do</i> -Support as a PF Operation: A Study of Japanese Learners of English	Satsuki Kojima	東北大学大学院 Explorations in English Linguistics 28 (14. 9)	**
英語運用能力を伸ばすシャドーイング	中西 弘	東北学院大学論集 英語英文学 97 (13. 3)	344
共生のための英語学習	村野井 仁	東北学院大学論集 英語英文学 97 (13. 3)	348
日本人学生の英語リスニング能力に関する一考察 ―語彙能力との関係について―	喜田 慶文	東洋大学 観光学研究 12 (13. 3)	352
A follow-up intervention study on the effectiveness of pronunciation instruction to EFL learners at a Japanese college	Taguchi, Kaya	東洋大学 経済論集 38-2 (13. 3)	357
Influences of L2 affective variables on willingness to communicate in English	IWAMOTO Noriko	東洋大学人間科学総合研究所紀要 16 (14. 3)	362

A corpus-based analysis of the grammatical patterning of <i>get</i> in native and non-native business meetings	FURUTA Naotoshi	東洋大学人間科学総合研究所紀要 16 (14. 3)	368
A case study of CLIL practices in the EFL classroom	ANITA Koike	東洋大学人間科学総合研究所紀要 16 (14. 3)	377
コーパスに基づく語彙研究：英語上級学習者のための語彙習得ストラテジー	木内 修	東洋大学大学院紀要 48 文学研究科 哲学・仏教学・中国哲学・英文学・史学・教育学・英語コミュニケーション専攻 (12. 3)	382
Learner Preferences toward Native-speaker English in Japanese EFL Education	Roehl SYBING	東洋学園大学紀要 22 (14. 3)	392
第二言語教育の理論的・歴史的背景の整理：大学英語授業の改善に向けて	浜本 隆三	徳島文理大学研究紀要 85 (13. 3)	401
「幼児英語」と「一般英語」の相違点 —現在起きている英語教育の混乱—	三井 敏正	常葉大学健康プロデュース学部雑誌 8-1 (14. 3)	405
A Corpus-driven Vocabulary Analysis of Authorized English Textbooks for High Schools and the English Examinations for Entrance to Japanese Universities	Yoshiho Satake	獨協大学 情報学研究 2 (13. 2)	410
2項テストにおける項目ラベル組み合わせの推定 (実践編)	安間 一雄	獨協大学 情報学研究 2 (13. 2)	414
Four-Stage Process for Enhancing Recognition of Logical Structures in Business-Oriented Texts —A First Step Towards Critical Thinking—	David A. Gann	獨協大学 情報学研究 2 (13. 2)	418
A Longitudinal Study of Students' Grammatical Accuracy during Their Production of Unscripted English	BEGOLE Bettina XENOS Tremain	鳥取環境大学紀要 12 (14. 3)	422
英文完成課題による動詞下位範疇化情報に関する調査 —DOバイアスとSCバイアスの発達的变化—	坂東 貴夫	名古屋大学大学院 ククロス：国際コミュニケーション論集 10 (13. 3)	426
Narrative Inquiry of an Entry-level Language Instructor on his Professional Development	Midori SHIKANO DuBois JENNINGS	南山大学紀要 アカデミア 人文・自然科学編 8 (14. 6)	433
A Quantitative Survey on Metacognitive Awareness of Reading Strategy Use in English by Japanese University Students	Midori SHIKANO	南山大学国際教育センター紀要 14 (14. 2)	440
Adopting Communicative Language Teaching Techniques to Provide Practice for Acquiring Grammar: Designing Teacher-made Materials	Miki Nosaka	南山大学大学院 南山言語科学 9 (14. 3)	447
The Effect of Topic-Selection Control on EFL Writing Fluency	Paul Dickinson	新潟国際情報大学 情報文化学部 紀要 17 (14. 4)	457
国際化・グローバル化社会における日本の外国語教育についての考察	宮崎 幸子	日本英語英文学会 日本英語英文学 24 (14. 12)	463

学習指導要領（試案）時代の高校英語教科書（読本）について ―戦争・平和に関する題材を中心に―	藤本文昭	日本英語教育史学会 日本英語教育史研究 26 (11. 5)	477
高校英語教科書（読本）について：戦争・平和に関する題材を中心に1959年度、1966年度、1975年度を比較して	藤本文昭	日本英語教育史学会 日本英語教育史研究 28 (13. 5)	485
占領期日本における英語教育構想 ―新制中学校の外国語科の成立過程を中心に―	広川由子	日本教育学会 教育学研究 81-3 (14. 9)	495
英語劇を取り入れた授業の効果	安藤栄子	日本大学国際関係学部 国際関係研究 35-1 (14. 10)	502
On Potentiality of Cognitive Semantics and Linguistic Typology for Acquisition of the English Preposition <i>from</i> by Japanese Learners of English	Kazuyuki YAMAGUCHI	日本体育大学紀要 42-2 (13. 3)	507
The Consecutive Interpreting Approach and Its Effects on L2 Written Reproduction	IIZUKA Hideki	日本通訳翻訳学会 通訳翻訳研究 14 (14. 12)	512
絵本の「読み聞かせ」を使った小学校英語入門期におけるphonemic awareness指導	木戸美幸	日本比較文化学会 比較文化研究 110 (14. 2)	521
初年次教育として必修英語科目の果たしうる機能 コミュニケーション能力育成を視野に入れて	福本陽介	日本福祉大学全学教育センター紀要 1 (13. 3)	527
日本人学習者によるイギリス英語とアメリカ英語のリスニング	大木俊英 金子夏実	白鷗大学教育学部論集 8-1 (14. 5)	537
Towards Understanding the Issues Concerning the Adoption of CLIL Approaches to English Language Teaching and Learning in Japanese Universities	Martin Parsons Larry Walker	阪南大学 阪南論集 人文・自然科学編 49-2 (14. 3)	545
中学校英語教科書の語彙分析	佐藤剛	弘前大学教育学部附属教育実践総合センター研究員紀要 11 (13. 3)	553
Japan's New Directions for Improving Junior High School Students' Discourse Competence in English	Keiso TATSUKAWA	広島大学外国語教育研究センター 広島外国語教育研究 17 (14. 3)	558
中学校英語教科書の比較検討 ―wh疑問詞に焦点を当てて―	上西幸治	広島大学外国語教育研究センター 広島外国語教育研究 17 (14. 3)	568
Are People in China Hungrier to Learn English than People in Japan?	Joe LAUER	広島大学外国語教育研究センター 広島外国語教育研究 17 (14. 3)	577
第二言語習得論から見た小学校外国語活動 ―尾道市立日比崎小学校の取り組み―	小野章	広島大学大学院教育学研究科紀要 第2部 文化教育開発関連領域 63 (14. 12)	581
英文和訳における原文と訳文の語順の違い	横山知幸	広島市立大学国際学部 広島国際研究 19 (13. 11)	586
英文和訳における語順の違いの測定：ウィルソン第一リーダーの独案内の分析	横山知幸	広島市立大学国際学部 広島国際研究 20 (14. 11)	594

TOEIC Vocabulary in Part 5 of the Test	Dominic Marini	福岡国際大学紀要 30 (13. 9)	602
Translation as a reading strategy (Research Notes)	YOSHIDA, Takashi	福島大学 人間発達文化学類論集 17 (13. 6)	609
「英語の力」のとらえ方 —知識と使用—	吉 田 孝	福島大学 人間発達文化学類論集 18 (13. 12)	612
The 7P's: A Framework for Building Communication Skills	Leah Gilner	文京学院大学外国語学部・文京学院短期大学 紀要 12 (13. 2)	619
A Recipe for Bilingualism	Pierre BABINEAU	プール学院大学研究紀要 54 (13. 12)	627
英語教育におけるリスニング、シャドーイング、ディクテーションの関係	飯 野 厚	法政大学多摩論集 29 (13. 3)	635
Collaborative and Cooperative Online Language Exchanges	Eric HAGLEY	北海道言語研究会 北海道言語文化研究 12 (14. 3)	643
Linguistic Input, Recasting, and Their Effects on a Focused Communication Task for Adult Beginners	Kenneth FOYE	北海道言語研究会 北海道言語文化研究 12 (14. 3)	647
The Effect of Moomin Stories as Teaching Materials for Transactional Analysis	Fumihito Ikeda	北海道大学 高等教育ジャーナル—高等教育と生涯 学習— 21 (14. 3)	652
The age factor in second language learning and the development of bilingualism	David Paterson	松山大学 言語文化研究 33-2 (14. 3)	658
COMMON BILINGUAL EDUCATION PROGRAM MODELS IN THE UNITED STATES OF AMERICA	Philip T. Reynolds	松山大学 言語文化研究 34-1 (14. 9)	668
Increasing Comprehensible Input through Extensive Reading: A Case Study	John Wiltshier	宮城学院女子大学 英文学会誌 41 (13. 3)	677
日本人学生の和製英語に関する認識調査とその報告	五十嵐 優 子	武庫川女子大学英文学会 Mukogawa literary review 50 (13. 3)	683
English Proficiency, Expectations and Proficiency-Based Class in a Japanese University Freshman English Program	Masanori Tokeshi	名桜大学紀要 18 (13. 3)	691
米軍占領下の沖縄(1945~1953)における小学校英語教育 —必修の小学校英語教育はなぜ継続されなかったのか?—	与那覇 恵 子	名桜大学紀要 19 (14. 3)	700
英語 5 文型の再考と文型指導	小山田 幸 永	明海大学 Journal of Hospitality and Tourism 9-1 (13. 12)	707
Lessons From a Century Ago	Justin Falkus	明海大学 外国語学部論集 25 (13. 3)	710
Study on Learners' Beliefs, Learning Strategies, and Self-Efficacy	和 泉 伸 一	明海大学大学院 応用言語学研究 16 (14. 3)	715

The Comparison of English Rhythm between Japanese EFL Learners and English Native Speakers	Shigeo Nakano	明治学院大学大学院 Nebulous	41 (13. 3)	721
国際英語論考 ―教育のための英語モデルを考える―	村田 泰美	名城大学人文紀要	103 (13. 9)	747
インプット重視の文法指導	島田 勝正	桃山学院大学 英米評論	28 (14. 3)	753
Simulation and Educational Technology for Foreign Language Learning	IWASAKI, Irene	桃山学院大学 英米評論	28 (14. 3)	***
Exploring Second Life for Effective English as a Foreign Language and Culture Learning	Irene IWASAKI	桃山学院大学 人間科学	45 (14. 3)	***
英語教育と英語史 ―高等学校での授業実践報告―	横山 利夫	山形県立米沢女子短期大学附属生活文化研究所報告	41 (14. 3)	761
明治期に廃れた〈直訳―意識―注釈〉式英語学習書の可能的工夫	藤本 幸伸	山口大学教育学部 研究論叢	63-1・2 (14. 1)	766
語彙学習ストラテジーにおける精緻化作業の意義と効果に関する実証的研究 ―語彙の領域分類作業の効果を中心として―	古家 貴雄	山梨大学教育人間科学部紀要	14 (13. 3)	775
Principles and Practices Applicable to the Design of Successful Blended Language Learning	ALLUM Paul	立教大学 異文化コミュニケーション学部紀要 とば・文化・コミュニケーション	5 (13. 3)	779
Read-aloud as a Preparation Tool for Norm-referenced Tests	Takeshi Ishikawa	立教大学ランゲージセンター紀要	31 (14. 1)	786
行為の中の「英会話」 ―間ディスコース性が織りなす教室の多重的時空間―	榎本 剛士	立教大学大学院 異文化コミュニケーション論集	12 (14. 2)	790
英語教育100の基本(その2)	大塚 巖	立正大学大学院紀要	30 (14. 3)	799
The Perception of the English Preposition “Through” by Japanese Learners of English	Masato Hayashi	立命館大学経営学会 立命館経営学	52-4・5 (14. 1)	821
On Perception of the Verb “Give” by Japanese Learners of English	Masato HAYASHI Thomas MARKS	立命館大学国際言語文化研究所 立命館言語文化研究	24-3 (13. 3)	831
ARE REVIEWERS IN THE ENGLISH-SPEAKING WORLD IGNORING THE WORK OF TRANSLATORS? A CASE STUDY OF TRANSLATIONS OF HARUKI MURAKAMI'S WORK	Anthony Tobin	麗澤大学紀要	97 (13. 12)	839
Exploring the Relationship Between Oral Reading Practice and Reading Fluency in a Foreign Language	FUJINAGA Fumihisa	早稲田実業 早実研究紀要	48 (14. 3)	853

** ……特集号・専門誌などに掲載されたために紹介にとどめた論文

*** ……著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

英語学論説資料 第48号

収録論文一覧

2016年6月30日発行

東京都板橋区向原3-10-2

論説資料保存会

代表者 常盤浩行

英語学論説資料 第48号 発行日

第1分冊	2016年6月30日
第2分冊	2016年6月30日
第3分冊	2016年6月30日
第4分冊	2016年6月30日
第5分冊	2016年6月30日
第6分冊	2016年6月30日